

消 防 年 報

平 成 29 年 版



第2回気仙沼・南三陸フォトコンテスト 「大島架橋を眺める」 熊谷 敏 氏

気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部
(平成 30 年刊行)

は し が き

この消防年報は、気仙沼・本吉地域広域行政事務組合の消防事情を広く紹介するとともに、消防行政の資料として活用するために当組合の現勢並びに平成29年中の消防業務の実態を収録したものです。

本書により消防の実態をご理解いただき、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年8月

気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部

目 次

沿 革	1
圏域管内図，位置及び管内情勢	14
組合組織図	15
庁舎，待機宿舎の位置	16
総 務	
予 算	
平成 30 年度当初歳入歳出予算	17・18
平成 30 年度（当初）組合消防費にかかる性質別歳出の財源内訳	19
平成 30 年度（当初）構成市町の一般会計と消防予算	19
平成 29 年度（決算）構成市町負担金負担割合	19
決 算	
平成 29 年度歳入歳出決算	20・21
職 員	
配 置 状 況	22
階級別勤続年数	23
階級別年齢	24
年齢構成図	25
学校等教育状況	26
資格取得状況	27
予 防	
防 火 対 象 物	
消防法第 17 条対象物数	29
用途別消防用設備等の設置状況	30
用途別予防査察状況	31
用途別中高層建築物の現況	32
防火管理者を要する対象物	33
建 築 同 意 事 務	34
危 険 物	
危 険 物 施 設	35
危険物施設の予防査察実施状況	36
危険物事務処理件数	37
民間防火組織	
危険物安全協会結成状況	38
婦人防火クラブ結成状況	38

防火管理者協会結成状況	38
幼年消防クラブ結成状況	39
少年消防クラブ結成状況	39

警 防

消 防 車 両

消防車両等の配置状況	41
消防車両等の配置現況	42

消防力の整備指針と現有

消防本部・署所の人員	43
署所及び動力消防ポンプの基準と現有	44

消 防 水 利

管内水利状況	45
--------	----

通 信

通信施設の現況	47
119 番受信件数	48・49
通 信 系 統 図	50

気 象

気 象 統 計	51
気象情報等受信件数	52

管内消防団

組 織 機 構 図	53・54
組 織	55
階級別消防団員数	55
年齢別消防団員数	55
在職年数別消防団員数	56
消防団員報酬	56
消防施設の現況	56

火災・救急・救助統計

火 災 統 計

火災件数及び損害額の推移	57
火災発生状況（署所別）	58
〃 （覚知別）	59
〃 （月 別）	60・61
月別火災発生状況	62
曜日別火災発生状況	63

時間別火災発生状況	63
原因別火災発生状況・損害額	64
建物用途別火災発生状況（火元）	65

救 急 統 計

救急概況	66
事故種別活動状況	67
署所別事故別活動状況	68
署所別救急活動状況	69
月別出場件数	70
時間別出場件数	71
曜日別搬送人員	72
年齢区分・傷病程度別搬送人員	73
年齢区分別搬送人員	74
医療機関別搬送人員	75
覚知別出場状況，不搬送理由，診療科目別搬送状況，その他の統計	76
救急活動の推移	77

救 助 統 計

事故種別救助活動状況	78
救助活動の推移	79

防災センター

防災センターの概要	81
月別・地域別利用状況	82
月別・曜日別利用状況	83
利用者別状況	84
主 な 備 蓄 品	84

沿 革

昭和46年 7月21日	宮城県知事から広域市町村圏の指定受ける。
8月 2日	気仙沼・本吉地域広域行政事務組合設立。
昭和47年 4月 1日	気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部発足。
〃	初代消防長に加藤留七就任。
〃	広域消防職員として前気仙沼市消防本部職員 55 人を任用，18 人新規採用。（消防職員定数 155 人）
4月10日	宮城県より危険物規制事務を引き継ぐ。
4月15日	消防常備化市町村の指定（郡内 5 町）を受ける。
8月 4日	消防職員 16 人を採用。
12月 1日	広域消防の業務開始。（1 本部，2 消防署，1 分署，4 出張所）
12月 4日	消防職員 15 人を採用。
12月20日	志津川消防署庁舎落成。
12月25日	志津川消防署津山出張所庁舎落成。
昭和48年 1月 7日	気仙沼消防署本吉分署庁舎落成。
1月18日	志津川消防署歌津出張所庁舎落成。
1月24日	広域消防間の相互応援協定締結。（石巻，塩釜，登米，大崎の各広域消防本部）
1月25日	気仙沼消防署唐桑出張所庁舎落成。
1月30日	管内各消防無線固定局開局。
1月31日	広域消防開庁祝賀会。
3月15日	気仙沼消防署に救急自動車 1 台配置。
3月23日	広域消防間の相互応援協定締結。（岩手県両磐地区，陸前高田市の各消防本部）
3月25日	財日本自動車工業会から救急自動車の寄贈を受け，気仙沼消防署に配置。
4月 2日	消防職員 21 人を採用。
4月24日	気仙沼本吉地区危険物安全協会結成。
6月20日	救急業務市町村の指定（郡内 5 町）を受ける。
7月19日	干害対策本部を設置。
8月 2日	消防職員 14 人を採用。
8月23日	志津川消防署に消防ポンプ自動車 1 台を配置。
10月 1日	気仙沼海上保安署と業務協定締結。
昭和49年 3月 2日	消防職員（船舶職員）3 人を採用。
3月31日	気仙沼消防署「望楼」勤務を廃止。（昭和 12 年建設，昭和 60 年撤去）
4月 4日	消防職員 10 人を採用。
4月16日	気仙沼消防署臨港出張所落成。
〃	消防艇「あさぎり」配置。
7月30日	第 1 回消防職員技術大会実施。（以後毎年実施）

昭和49年12月 5日	志津川町防火管理者協会結成。
昭和50年 3月14日	気仙沼市で市民消防学校を開催。
6月 2日	消防職員 1 人を採用。
6月10日	昭和 50 年度宮城県総合防災訓練を気仙沼市内の脇地区において実施。
7月 1日	消防職員 1 人を採用。
9月11日	(財)日本損害保険協会から消防ポンプ自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
10月 1日	第2代消防長に村上栄就任。
11月13日	「第8なか丸」歌津沖で転覆事故。気仙沼港に曳航、人命搜索救助活動を行う。
昭和51年 3月23日	志津川町で町民消防学校を開催。
6月 8日	消防本部庁舎増築落成。
8月20日	本吉町防火管理者協会結成。
12月 2日	気仙沼市大島地区に駐在員 2 人を派遣。
12月10日	本吉町で町民消防学校を開催。
12月18日	唐桑町で町民消防学校を開催。
昭和52年 2月 1日	消防音楽隊を結成。(隊員 25 人)
3月11日	歌津町で町民消防学校を開催。
3月19日	津山町で町民消防学校を開催。
3月30日	気仙沼信用金庫から救助工作車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
4月11日	津山町防火管理者協会結成。
10月28日	気仙沼消防署と志津川消防署に作業車を更新配置。
11月 2日	気仙沼消防署に指令車を更新配置。
11月12日	唐桑町防火管理者協会結成。
11月19日	気仙沼市大島地区で市民消防学校を開催。
昭和53年 4月 1日	消防職員 3 人を採用。
4月 3日	消防本部と志津川消防署の消防救急通信指令装置が完成。
6月12日	宮城県沖地震。
7月27日	第7回全国消防救助技術大会(千葉市)において水中検索の部に高崎秀敏消防士出場。
12月 1日	広域行政事務組合が理事制に移行。
昭和54年 3月20日	本吉町で同時大規模林野火災発生。(12ha・5ha) 管内消防団、登米広域消防本部及び両磐広域消防本部の応援を受ける。
4月 6日	気仙沼消防署大島出張所庁舎落成。
4月20日	消防本部指令車を更新配置。
4月26日	昭和 54 年度宮城県林野火災防ぎょ訓練を歌津町田束山において実施。
6月16日	唐桑町で少年消防クラブ結成。
12月13日	気仙沼・本吉地域広域行政事務組合職員互助会発足。
12月25日	(有)気仙沼モータースから人員搬送車の寄贈を受け、消防本部に配置。
12月26日	気仙沼消防署に消防ポンプ自動車を更新配置。

昭和54年12月26日	気仙沼消防署に屈折梯子車を配置。
昭和55年 5月29日	第3回全国消防職員意見発表大会（東京都）において錦部照夫消防士長最優秀賞を受賞。
6月 1日	志津川町、歌津町及び津山町の消防職員待機宿舎完成。
6月10日	消防本部に査察車を更新配置。
8月28日	(財)日本船舶振興会から救急自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
9月 1日	昭和 55 年度宮城県総合防災訓練を気仙沼市館山地区で実施。
9月18日	気仙沼消防署唐桑出張所、志津川消防署歌津出張所及び津山出張所に防火広報車を配置。
10月 1日	第3代消防長に畠山誠就任。
11月21日	歌津町防火管理者協会結成。
12月19日	気仙沼消防署南出張所に消防ポンプ自動車を更新配置。
12月27日	宮城県知事から空中消火用資機材の保管を委託され、志津川消防署で管理。
昭和56年 1月10日	(財)日本船舶振興会から防火広報車の寄贈を受け、消防本部に配置。
4月 1日	消防職員 4 人を採用。
6月 4日	歌津町で幼年消防クラブ結成。
8月11日	気仙沼本吉地区婦人防火クラブ連合会結成。（1市5町）
11月30日	気仙沼消防署本吉分署に査察車、志津川消防署に指令車を更新配置。
12月14日	(社)日本損害保険協会から救急自動車の寄贈を受け、志津川消防署津山出張所に配置。
昭和57年 2月25日	唐桑町の消防職員待機宿舎完成。
3月17日	気仙沼消防署本吉分署に救急自動車を更新配置。
3月19日	気仙沼消防署に消防ポンプ自動車を配置。
4月 1日	第4代消防長に川合昭伍就任。
〃	消防職員 3 人を採用。
4月11日	気仙沼市魚市場に係留中の「第11 豊洋号」（ブンヤン号）においてアンモニアガス噴出事故発生。死者 8 人、負傷者 6 人。 この救助活動に従事した職員及び団体の功績に対し、(財)宮城県消防協会長から「功労章」、(財)日本消防協会長から「現場功労章」、宮城県知事から「顕彰状」、消防庁長官から「功績章」が授与され、内閣総理大臣から当消防本部に対して昭和 58 年度「防災功労章」が授与された。
6月10日	気仙沼市で幼年消防クラブ結成。
7月12日	津山町で幼年消防クラブ結成。
7月30日	第 25 回宮城県消防操法大会を気仙沼市で開催。
8月24日	(財)日本消防協会から緊急用ろ水器が寄贈され、気仙沼消防署と志津川消防署に配置。
9月 9日	「救急の日」制定。
12月 1日	気仙沼消防署に照明電源車を配置。
昭和58年 1月30日	志津川消防署に救急自動車を更新配置。
3月 9日	志津川町で幼年消防クラブ結成。

昭和58年 3月30日	本吉町の消防職員待機宿舎落成。
4月 1日	警防課に通信担当者 2 名を配置。
6月 2日	第 6 回全国消防職員意見発表大会(京都府)において芳賀保宏消防士優秀賞を受賞。
昭和59年 3月16日	宮城県知事から「林野火災特別地域」の指定を受ける。
4月 1日	消防職員 3 人を採用。
7月10日	宮城県防災気仙沼消防無線局を開局。
7月20日	本吉町で少年消防クラブ結成。
12月 4日	本吉町で幼年消防クラブ結成。
昭和60年 2月 8日	志津川消防署に水槽付消防ポンプ自動車を設置。
2月15日	異常気象(厳冬による消防水利確保困難)のため「火災警報」を発令。
3月12日	気仙沼消防署本吉分署に水槽付消防ポンプ自動車を設置。
4月 1日	消防職員 3 人を採用。
6月 1日	宮城県防災気仙沼消防無線局にファクシミリ開通。
8月 1日	消防衛生管理規程を制定。
8月19日	異常渇水のため消防対策本部を設置。(9月2日まで継続)
8月23日	第 14 回全国消防救助技術大会(広島市)において伊藤大志消防士「ロープ登はんの部」で入賞。
8月26日	(財)日本損害保険協会から化学消防ポンプ自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
10月 8日	第 32 回全国消防長会警防委員会を気仙沼市で開催。
11月25日	産業医(猪苗代勇医師)を嘱託。
11月27日	第 1 回「火災予防キャンペーン」実施。(以後毎年実施)
12月18日	国道 45 号線安波山トンネル開通に伴う関係機関合同総合訓練。(以後隔年実施)
昭和61年 1月 6日	消防出初式に「梯子乗り」登場。
3月 8日	「消防表彰式」を創設。(以後毎年実施)
3月10日	(財)日本自動車工業会から救急自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
3月27日	志津川消防署歌津出張所、津山出張所に消防ポンプ自動車を更新配置。
4月 1日	消防職員 2 人を採用。
8月 5日	台風 10 号くずれの低気圧により宮城県全域で大雨洪水による被害多発。
10月16日	気仙沼市で「幼年消防フェア」を開催。
11月27日	気仙沼消防署唐桑出張所、志津川消防署歌津出張所に広報車を更新配置。
〃	広域組合消防計画書を策定。
昭和62年 3月18日	気仙沼消防署に指令車更新配置。
3月26日	「火災警報」を発令。
5月15日	異常渇水のため消防対策本部を設置。
5月28日	第 10 回全国消防職員意見発表大会(横浜市)において佐藤武敏消防士長優秀賞受賞。
8月 1日	広域組合消防安全管理規程を制定。
8月12日	第 30 回宮城県消防操法大会を志津川町で開催。
9月 1日	(財)日本船舶振興会から救急自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。

昭和62年10月23日	気仙沼消防署、志津川消防署に作業車を更新配置。
11月 9日	「119 番の日」制定。
11月17日	(株)アーバンから防災指揮車の寄贈を受け、消防本部に配置。
12月19日	危険物安全協会創立 30 周年記念式典の開催。
昭和63年 4月 1日	東京消防庁への研修派遣制度導入。(計 8 人研修)
6月 4日	気仙沼市で少年消防クラブ結成。
8月19日	第 17 回全国消防救助技術大会(横浜市)において伊藤大志消防士「ロープブリッジ渡過の部」で入賞。
10月 7日	志津川消防署津山出張所に広報車を更新配置。
平成元年 1月29日	4 週 6 休実施。
2月21日	宮城県共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
4月18日	平成元年度宮城県林野火災防ぎょ訓練を気仙沼市太田放牧地において実施。
8月 8日	(有)気仙沼モータースへの車両整備技術取得研修派遣制度導入。(8 名研修)
12月25日	唐桑町で幼年消防クラブ結成。
平成 2年 2月21日	広域組合の休日を定める条例を制定。
3月29日	消防訓練塔落成。
3月31日	消防職員高齢化対策で職員 2 人退職。(4 月 1 日付で気仙沼市へ身分移管)
4月 1日	消防職員 3 人を採用。
4月26日	第 13 回全国消防長会東北支部意見発表大会(新潟市)において森淳一消防士長優秀賞を受賞。
5月17日	第 41 回全国消防長会警防委員会を気仙沼市で開催。
7月 6日	第 15 回宮城県消防救助技術指導会を気仙沼市で開催。
8月24日	第 19 回全国消防救助技術大会(広島市)において志津川消防署隊「ロープブリッジ救出の部」で入賞。
9月 1日	9. 1 宮城県総合防災訓練を志津川町で開催。
平成 3年 2月25日	消防本部に人員輸送車配置。
〃	人員輸送車運行管理要綱制定。
3月31日	消防職員高齢化対策で職員 1 人退職。(4 月 1 日付で気仙沼市へ身分移管)
4月 1日	第 5 代消防長に若杉市郎就任。
〃	消防職員 2 人を採用。
〃	(財)日本消防協会へ 1 人を研修派遣。
8月28日	第 20 回全国消防救助技術大会(大阪府)において伊藤大志消防士「ロープブリッジ渡過の部」で入賞。
9月 9日	カメイ(株)から広報車の寄贈を受け、消防本部に配置。
10月 1日	消防職員高齢化対策で職員 1 人を広域組合に研修派遣。
〃	宮城県防災航空隊に職員 1 名派遣。
12月 9日	気仙沼消防署・本吉分署・志津川消防署・津山出張所に救急応急処置範囲の拡大に伴う 9 点セットを配置。

平成 4年 3月21日	岩手県東磐井郡室根村地内の大川にタンクローリー仰転、重油流出により「大川油流出事故対策本部」を設置、消防職・団員及び自衛隊（第 22 普通科連隊）が災害復旧活動に従事。（4月 14 日対策本部解散） また、3月 24 日から 3 日間、広域消防相互応援協定に基づき、大崎広域消防本部・塩釜地区消防本部・両磐地区消防本部からのタンク車による応援を受けた。
3月31日	志津川消防署、気仙沼消防署本吉分署に指令車と査察車を更新配置。
〃	消防職員高齢化対策で職員 4 人退職。（4月 1 日付で広域組合・唐桑町・本吉町・津山町へ身分移管）
4月 1日	消防職員 4 人を採用。
〃	宮城県広域航空消防応援協定締結。
8月28日	第 21 回全国消防救助技術大会（千葉市）において伊藤大志消防士「ロープブリッジ渡過の部」で入賞。
9月 4日	（財）日本防火協会より防火広報車の寄贈を受け、消防本部に配置。
10月21日	第 8 回全国婦人消防操法大会（横浜市）において津山町婦人消防隊が準優勝。
10月30日	「広域組合設立・広域消防発足 20 周年記念式典」を開催。浅野大三郎消防庁長官が記念講演。
平成 5年 2月 1日	4 週 8 休実施。
2月 8日	気仙沼三菱自動車販売㈱より連絡広報車の寄贈を受け、気仙沼消防署大島出張所に配置。
3月31日	消防職員高齢化対策で職員 1 人退職。（4月 1 日付で志津川町へ身分移管）
4月 1日	消防職員 1 人を採用。
〃	消防職員定数を 187 人に改正。
4月18日	津山町で大規模林野火災発生（10ha 焼失）管内消防団の応援を受ける。
10月 1日	気仙沼消防署唐桑出張所に救急自動車（2 B 型）を配置。
10月26日	消防本部・気仙沼消防署・広域防災センター新庁舎落成。
平成 6年 1月31日	気仙沼消防署南出張所廃止。
2月 1日	消防本部・気仙沼消防署新庁舎で業務開始。
〃	消防緊急通信指令施設開通式（119 番統合）。
〃	気仙沼・本吉広域防災センター条例施行。
〃	気仙沼・本吉広域防災センター職員辞令交付（全員併任発令）。
〃	気仙沼消防署南町出張所設置（臨港出張所併合）職員 8 人配置。
2月28日	消防緊急通信指令施設（Ⅱ型）完成。
3月23日	気仙沼消防署に高規格救急自動車配置。
3月29日	消防本部・気仙沼消防署・広域防災センター新庁舎落成式。
4月 1日	消防職員 7 人を採用。
〃	警防課内に通信指令室勤務 6 名を配置、2 部制とした。
〃	「気仙沼・本吉広域防災センター」オープン。
4月17日	唐桑町漁火パーク「登山リフトカー」暴走事故。負傷者 31 名

平成 6年 5月25日	救急救命士国家試験（1人）合格。（以降毎年度養成）
8月12日	異常渇水による消防対策本部設置（8月22日まで）。
9月30日	（財）日本損害保険協会から救助工作車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
10月27日	第50回全国消防長会警防委員会を気仙沼市で開催。
11月13日	広域防災センター入館者10,000人達成。
平成 7年 2月 1日	地震津波災害警防計画を作成。
3月20日	気仙沼消防署南町出張所に消防ポンプ自動車を更新配置。
4月 1日	消防本部に通信指令室を設け室長及び通信情報係・通信管理係を置き、消防署に救急係・救助係を配置し、分署に警防係・予防係を配置。
〃	消防職員8人採用。
5月 9日	旅客船「くろさき」岸壁衝突事故。負傷者149人。
7月14日	広域防災センター入館者20,000人達成。
8月22日	当消防本部が緊急援助隊救急部隊に登録される。
8月25日	第24回全国消防救助技術大会（北九州市）において、志津川消防署「引揚救助の部」で入賞。
12月 1日	宮城県共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受け、歌津出張所に配置。
12月15日	気仙沼消防署大島出張所に消防ポンプ自動車を更新配置。
平成 8年 4月 1日	第6代消防長に熊谷昭一就任。
〃	消防職員7人採用。
5月26日	広域防災センター入館者30,000人達成。
10月11日	消防職員委員会規則公布。
12月11日	第1回消防職員委員会開催。（以後毎年開催）
12月19日	第1回緊急消防援助隊北海道・東北ブロック合同訓練に参加。（仙台市 20日まで）
平成 9年 1月 8日	志津川消防署に災害対応特殊救急自動車配置。
2月 3日	気仙沼消防署待機宿舍移転落成。
2月16日	広域防災センター入館者40,000人達成。
2月28日	気仙沼消防署臨港出張所廃止。
4月 1日	第7代消防長に藤原博就任。
〃	消防職員6人採用。
〃	給与振込開始。
7月25日	志津川消防署歌津出張所の広報車を更新、多機能型広報車を配置。
平成10年 2月 8日	広域防災センター入館者50,000人達成。
3月 1日	自動車電話・携帯電話119番受付業務を開始。
3月16日	気仙沼消防署に小型動力ポンプ付水槽車を配置。
4月 1日	消防職員6人採用。
〃	通信指令室に9名を配置。
6月15日	志津川消防署津山出張所に多機能型消防広報車配置。
12月 7日	広域防災センター入館者60,000人達成。

平成10年12月22日	気仙沼消防署大島出張所に救急自動車（2B型）配置。
平成11年 1月25日	気仙沼消防署に消防ポンプ自動車（CD－Ⅱ型）配置。
4月 1日	消防職員 5 人採用。
〃	消防職員定数を 197 人に改正。
5月13日	第 59 回全国消防長会警防委員会を気仙沼市で開催。
11月12日	志津川消防署に資機材搬送車配置。
12月10日	志津川消防署津山出張所に高規格救急自動車配置。
12月31日	コンピュータ西暦 2000 年問題に伴う警戒。
平成12年 2月 1日	年間訓練計画に基づく水難救助訓練を開始。
3月10日	高速消防救急艇「あさぎり」就航（19t）。
3月15日	志津川消防署歌津出張所新庁舎落成。
3月23日	広域防災センター入館者 70,000 人達成。
4月 1日	消防職員 5 人採用。
〃	権限移譲事務の開始。（煙火消費の許可事務，建設用びょう打ち銃用空砲許可事務，液化石油ガスの設備工事に関する事務）
4月27日	気仙沼消防署本吉分署に高規格救急自動車配置。
7月 7日	気仙沼消防署唐桑出張所に消防ポンプ自動車（CD－Ⅰ型）配置。
7月25日	第 41 回宮城県消防操法大会を歌津町で開催。
平成13年 3月31日	広域防災センター入館者 80,000 人達成。
4月 1日	消防職員 6 人採用。
〃	宮城県内航空消防応援協定締結。
〃	防災・消防ヘリコプター24 時間運航開始。
4月 1日	広域消防水難救助隊発足。（潜水士資格者 18 名）
9月20日	「宮城県沖地震長期評価」の発表に伴い，地震・津波対策検討委員会の設置。
11月21日	気仙沼・本吉地域広域テロ対策特別本部の設置。化学防護服を気仙沼消防署，本吉分署，志津川消防署に配備。
12月18日	気仙沼消防署南町出張所に高規格救急車配置。
平成14年 4月 1日	第 8 代消防長に菊田清一就任。
〃	消防職員 5 人採用。
4月17日	平成 14 年度宮城県林野火災防ぎょ訓練を本吉町小泉地区において実施。
5月 8日	広域防災センター入館者 90,000 人達成。
10月 1日	高速消防救急艇あさぎり大島係留業務開始。
10月 9日	組合設立及び広域消防発足 30 周年記念式典。
12月10日	志津川消防署歌津出張所に消防ポンプ自動車（CD－Ⅰ型）配置。
12月13日	志津川消防署に水槽付消防ポンプ自動車（Ⅰ－A型）配置。
〃	気仙沼消防署本吉分署に水槽付消防ポンプ自動車（Ⅰ－A型）配置。
平成15年 2月26日	(社)気仙沼市シルバー人材センターから指揮車の寄贈を受け，消防本部に配置。
3月11日	気仙沼地域メディカルコントロール協議会を設立。

平成15年 3月26日	気仙沼消防署唐桑出張所に高規格救急車配置。
4月 1日	消防職員 3 人採用。
〃	通信指令室を通信指令課に改め 3 部体制（職員 10 名）とした。
5月14日	広域防災センター入館者 100,000 人達成。
5月26日	三陸南地震。管内で震度 5 強を観測。
6月 4日	地震津波災害活動計画を作成。
7月26日	宮城県北部連続地震。 7 月 28 日から 2 日間、延べ人員 6 名を鹿島台町に派遣し、タンク車による応援活動を行った。
8月26日	この応援活動に対し、消防庁長官から当消防本部に「功労章」が授与された。 宮城県消防協会本吉支部の事務局所在地及び業務が、宮城県気仙沼地方振興センターから消防本部へ移管された。
10月 1日	地震津波安全対策担当を配置。
10月23日	第 68 回全国消防長会警防委員会を気仙沼市で開催。
11月19日	気仙沼消防署に消防ポンプ自動車（BD－I 型）配置。
12月 8日	志津川消防署津山出張所に消防ポンプ自動車（CD－I 型）配置。
平成16年 4月 1日	消防職員 3 人採用。
4月28日	第 27 回全国消防長会東北支部意見発表大会（新潟市）において阿部利彦消防士が優秀賞を受賞。
9月 1日	平成 16 年度 9. 1 宮城県総合防災訓練を気仙沼市階上地区において実施。
〃	緊急通報 F A X 受信運用開始。
9月30日	広域防災センター入館者 110,000 人達成。
平成17年 2月23日	当消防本部初の「気管挿管認定」救急救命士誕生。
3月31日	登米市（4 月 1 日）への身分移管に伴う職員 10 名退職。 広域市町村合併に伴う志津川消防署津山出張所の消防業務事務引継及び閉庁式を実施。
4月 1日	津山町が組合を脱退し、1 市 4 町で組合再編
5月28日	気仙沼港において塩釜海上保安部「巡視船くりこま」潜水隊との合同潜水訓練を実施。
8月16日	8. 16 宮城県沖地震。管内で震度 5 弱を観測。
10月 1日	志津川町・歌津町が合併し「南三陸町」となり、1 市 3 町で組合再編。 志津川消防署から南三陸消防署へ名称変更。
12月 2日	南三陸消防署歌津出張所に高規格救急車配置。
平成18年 2月 8日	南三陸消防署に消防ポンプ自動車（CD－I 型）配置。
2月13日	広域防災センター入館者 120,000 人達成。
3月 1日	谷村明信氏から潜水用資機材 7 式の寄贈を受けた。
3月 3日	気仙沼消防署に災害対応特殊はしご付消防ポンプ自動車配置。
3月31日	気仙沼市・唐桑町が合併し「気仙沼市」となり、1 市 2 町で組合再編。
4月 1日	消防職員 8 人採用。
9月24日	気仙沼湾に係留中のカツオ船（FRP 製）から火災が発生し、約 12 時間にわたる消火活動が行われた。

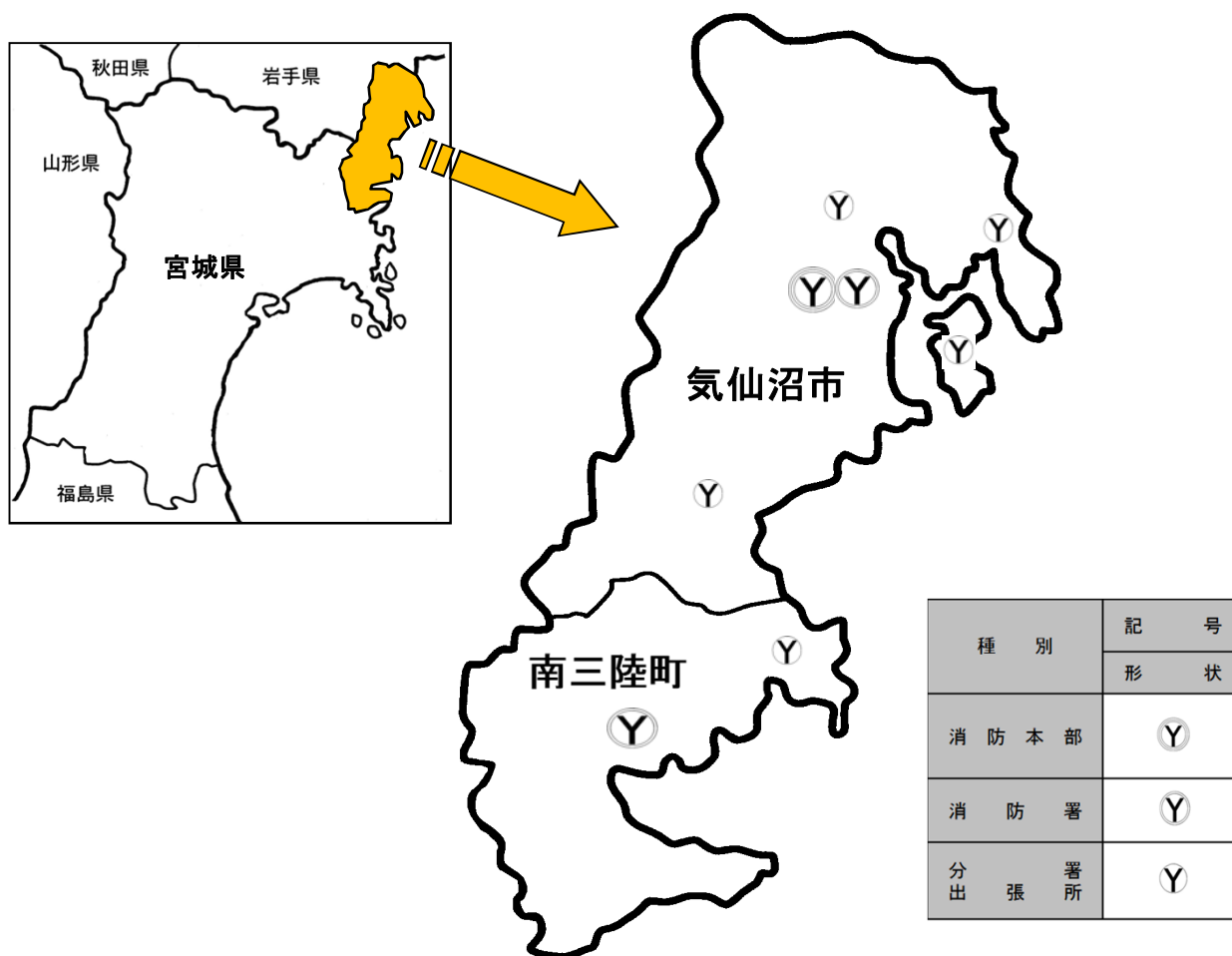
平成18年10月 6日	宮城県消防職員野球大会決勝大会が南三陸町歌津「平成の森」で行われ、当消防本部が優勝。
10月17日	当広域管内初の「薬剤（エピネフリン）投与の実施に係る認定」救急救命士誕生。
11月 1日	気仙沼ライオンズクラブから自動体外式除細動器（AED）1台の寄贈を受け、防災センターに配置。
12月26日	気仙沼消防署に水難救助車を配置。
平成19年 1月24日	気仙沼消防署本吉分署に消防ポンプ自動車（CD－I型）配置。
3月28日	宮城県防潮水門遠隔操作システムの操作装置が南三陸消防署に設置され運用開始。
4月 1日	第9代消防長に菅原武人就任。
〃	消防職員7人採用。初の女性消防士誕生。
5月23日	平成19年度大規模津波防災総合訓練（国土交通省主催）が気仙沼市をメイン会場に実施された。
7月 3日	広域防災センター入館者130,000人達成。
平成20年 2月 6日	毎年4月15日から5月14日までを行楽期の火災予防月間とした。
4月 1日	第10代消防長に齋藤一善就任。
〃	消防職員4人採用。
〃	各署所に地震津波安全対策担当を配置。
5月22日	第7回全国消防長会警防防災委員会を気仙沼市で開催。
6月14日	平成20年岩手・宮城内陸地震。 宮城県広域消防相互応援協定に基づく応援要請により、6月15日から6月23日まで9日間、延べ人員63名を栗原市に派遣した。
7月24日	岩手県沿岸北部を震源とする地震。管内で震度5強を観測。
7月28日	気仙沼消防署に資機材搬送車を配置。
7月29日	南三陸消防署に指令車、気仙沼消防署本吉分署に査察車を配置。
11月10日	災害情報等の電子メールでの配信を開始。
平成21年 1月 9日	広域防災センター入館者140,000人達成。
3月24日	宮城県防潮水門遠隔操作システムの操作装置が防災センターに設置され運用開始。
4月 1日	第11代消防長に千葉章一就任。
〃	消防職員9人採用。（うち救急救命士1人）
4月28日	救急救命士国家試験に2人合格。34名。
9月 1日	気仙沼市・本吉町が合併し「気仙沼市」となり、1市1町で組合再編。 事務組合規約を変更、理事会制から管理者制へ移行。
12月28日	気仙沼消防署及び南三陸消防署の高規格救急自動車を更新配置。
平成22年 3月24日	新人職員人材育成実施計画を作成。
4月 1日	出張所に係を配置。
〃	消防職員7人採用。
4月30日	救急救命士国家試験に2人合格。36名。
6月 9日	広域防災センター入館者150,000人達成。

平成22年12月 8日	気仙沼消防署に災害対応特殊化学消防ポンプ自動車Ⅱ型を配置。
平成23年 3月11日	東北地方太平洋沖地震 管内で震度6弱を観測 マグニチュード9.0 国内観測史上最大級の地震 名称は「東日本大震災」。 消防職員10名殉職。 庁舎被害：津波により全壊（南三陸消防署・歌津出張所）・全損（南町出張所） 地震による庁舎敷地地盤の沈下・擁壁亀裂（唐桑出張所） 車両等被害：火災及び津波により被災（消防艇1艇・指揮車2台・資機材搬送車1台） 緊急援助隊応援部隊数：1,141部隊、4,317名。
4月 1日	消防職員13人採用。
〃	嘱託員制度を導入。（4人）
4月12日	救急救命士国家試験に2人合格。35名。
9月25日	東日本大震災 組合消防職員殉職者合同慰霊祭を実施。
11月 9日	東日本大震災の活動に従事した功績に対し、総務大臣表彰が授与された。
平成24年2月28日	気仙沼消防署南町出張所に消防ポンプ自動車（CD－I型）を配置。
〃	台湾 洪氏から消防ポンプ自動車（CD－I型）の寄贈を受け、南三陸消防署に配置。
3月21日	気仙沼消防署大島出張所に広報車を配置。
〃	南三陸消防署に指揮車及び資機材搬送車を配置。
4月 1日	消防職員14人採用。（うち女性1人）
〃	再任用制度を導入。（6人再任用）
4月10日	救急救命士国家試験に1人合格。35名。
6月23日	広域防災センター入館者160,000人達成。
9月 1日	東日本大震災の活動に従事した功績に対し、防災功労者内閣総理大臣表彰が授与された。
平成25年 2月18日	J A南三陸・J A共済連宮城「地域の安全・安心プロジェクト」により、高規格救急自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署本吉分署に配置。
3月18日	前田道路株式会社から消防ポンプ自動車（CD－I型）の寄贈を受け、気仙沼消防署南町出張所に配置。
3月27日	消防救急艇「あさぎり」竣工式。
4月 1日	第12代消防長に及川淳之助就任。
〃	消防職員10人採用。
〃	消防職員6人再任用。
〃	消防指令センター及び消防救急デジタル・アナログ無線施設運用開始。
〃	南三陸消防署及び南三陸消防署歌津出張所仮設庁舎開庁式。
4月 8日	救急救命士国家試験に2人合格。36名。
7月 1日	人事評価制度開始。
6月26日	第36回全国消防職員意見発表の一環として、三浦勝郎司令補が東日本大震災被災地消防本部職員意見発表を行った。
12月21日	広域防災センター入館者170,000人達成。

平成26年 3月 3日	東日本大震災での教訓を後世に伝え、今後殉職事故を発生させないことを職員全員が誓い、確認する日として「消防誓いの日」を制定。
3月11日	東日本大震災消防職員殉職者慰霊碑・伝承碑建立式。（職員互助会事業）
3月24日	宮城県石油商業協同組合気仙沼支部・本吉支部と災害時における燃料等の供給に関する協定を締結。
3月28日	気仙沼消防署に救助工作車（Ⅱ型）を配置。
3月31日	救急救命士国家試験に2人合格。37名。
4月 1日	消防職員 12人採用。（うち救急救命士 2人）
〃	消防職員 7人再任用。
7月 2日	第39回宮城県消防救助技術指導会において、南三陸消防署が「ほふく救出」にて第1位となり全国消防救助技術大会の出場を決めた。（全国大会は中止）
7月22日	天皇皇后両陛下の宮城県内への行幸啓に伴い、管内市町で警備を実施。（3日間）
7月31日	気仙沼消防署古町出張所落成式。（8月1日より業務開始） 気仙沼消防署南町出張所から気仙沼消防署古町出張所へ名称変更。
平成27年 1月31日	気仙沼ライオンズクラブから消防活動用広報車の寄贈を受け、気仙沼消防署唐桑出張所及び南三陸消防署歌津出張所へ配置。
3月 7日	気仙沼消防署古町出張所の高規格救急自動車を更新配置。
3月31日	救急救命士国家試験に2人合格。41名。
4月 1日	第13代消防長に菅原裕二就任。
〃	消防職員 11人採用。（うち救急救命士〈女性〉1人）
〃	消防職員 8人再任用。
7月 1日	広域管内初となる宮城県メディカルコントロール協議会より救急救命士が処置拡大の認定を受け運用を開始。
9月28日	アステラス製薬株式会社から高規格救急自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署大島出張所へ配置。
平成28年 1月 1日	平成27年の火災件数が広域消防発足以降、最小件数を更新。（23件）
1月18日	広域防災センター入館者 180,000人達成。
3月31日	救急救命士国家試験に2人合格。44名。
4月 1日	消防職員 9人採用。
〃	消防職員 3人再任用。
4月18日	第39回全国消防長会東北支部意見発表大会（仙台市）において熊谷崇洋消防士が入賞。
6月13日	気仙沼消防署唐桑出張所落成式。（6月1日より業務開始）
8月 1日	当消防本部に双子のイメージキャラクター「かなえ」ちゃん、「みなみ」ちゃんが誕生。
8月 3日 ～4日	平成28年度少年消防クラブ交流会（全国大会）合同訓練を南三陸町（平成の森）で開催。

平成28年 8月31日	台風第 10 号に伴う大雨災害により広域消防初の緊急消防援助隊が出動。 8 月 31 日から 9 月 9 日までの 10 日間、延べ 5 隊（救助小隊・消火小隊）25 名を岩手県岩泉町に派遣し、安否確認及び捜索活動を行った。
12月21日	気仙沼消防署唐桑出張所の高規格救急自動車を更新配置。
平成29年 1月 1日	平成 28 年の火災件数が広域消防発足以降、最小件数を更新。（16 件）
2月 8日	台風第 10 号に伴う大雨災害に緊急消防援助隊を派遣し、活動に従事した功績に対し消防庁長官より賞状が授与された。
3月29日	気仙沼消防署に消防ポンプ自動車（CD－I 型）を配置。
3月31日	救急救命士国家試験に 1 人合格。45 名。
4月 1日	消防職員 3 人採用。
4月17日	南三陸消防署歌津出張所落成式。（5 月 1 日より業務開始）
5月18日	第 25 回全国消防長会警防防災委員会を気仙沼市で開催。
10月 1日	「消防職員パワーハラスメント防止に関する指針」及び「職場におけるパワーハラスメントの防止に関する要綱」を策定。
平成30年 2月 9日	南三陸消防署歌津出張所の高規格救急自動車を更新配置。
2月14日	南三陸消防署歌津出張所消防職員待機宿舎を解体撤去。
3月23日	気仙沼消防署唐桑出張所の消防ポンプ自動車（CD－I 型）を更新配置。
3月29日	広域防災センター入館者 190,000 人達成。
3月30日	救急救命士国家試験に 1 人合格。46 名。
4月 1日	消防職員 3 人採用。

圏域管内図



位 置 及 び 管 内 情 勢

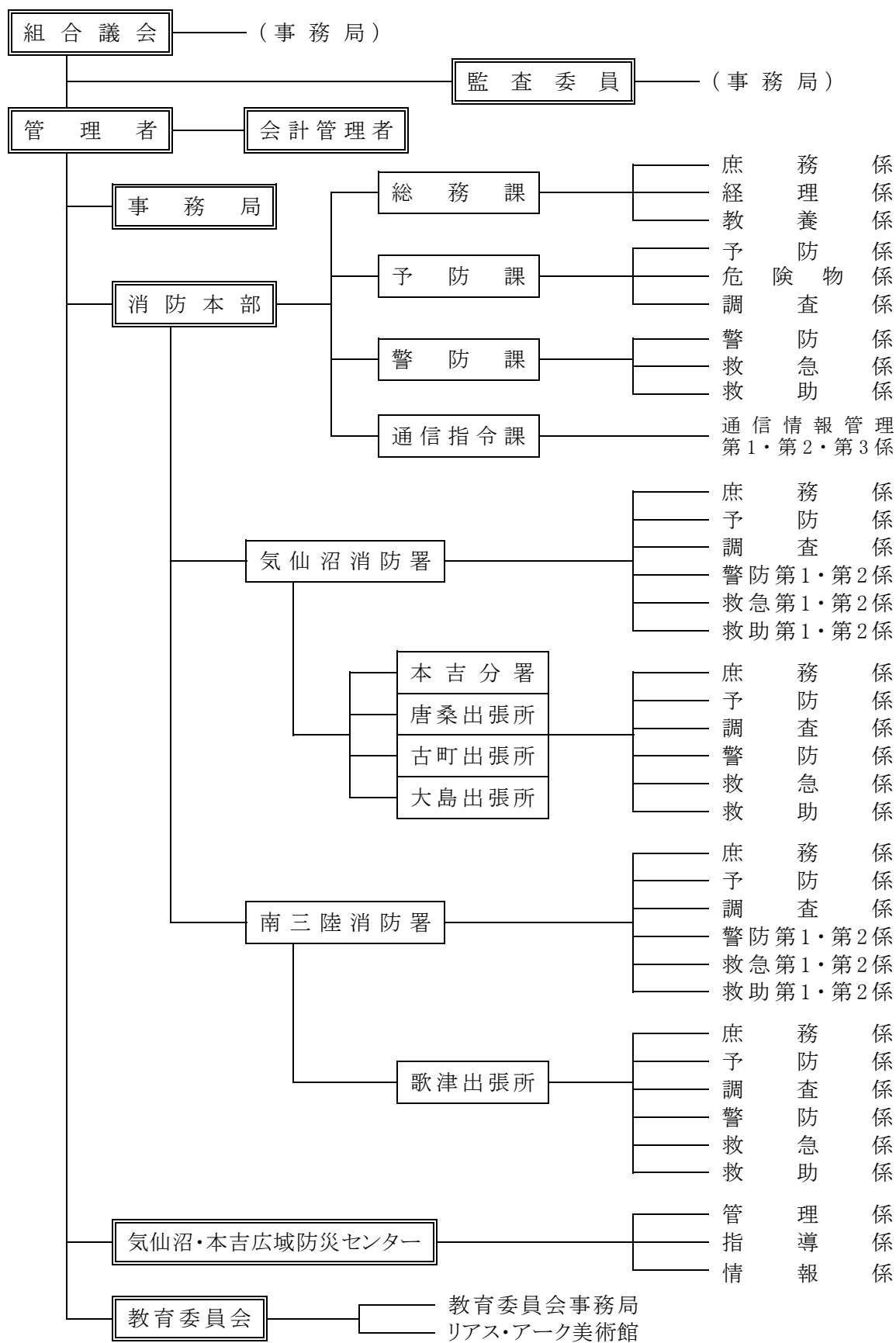
当組合は、気仙沼市と南三陸町の1市1町で構成され、宮城県の最北端に位置し、東は雄大な太平洋に面し、西は北上山系の支脈の稜線で、岩手県や宮城県の内陸市町村と接しています。また、太平洋側は、変化に富んだ美しいリアス式海岸で、三陸復興国立公園に指定され、多くの観光客が訪れています。

(平成30年4月1日現在)

市 町 名	面 積 (km ²)	世 帯 数 (世帯)	人 口 (人)
気 仙 沼 市	332.44	26,327	64,352
南 三 陸 町	163.40	4,500	13,141
合 計	495.84	30,827	77,493

組合組織図

(平成30年4月1日現在)



庁 舎 位 置

(平成30年4月1日現在)

本 部 ・ 署 所	所 在 地	敷地面積(㎡)	構 造	面 積(㎡)	竣 工
消 防 本 部	〒988-0104 気仙沼市赤岩五駄鱈43番地2	6255.00	鉄筋コンクリート 3階建	建1,700.3 延2,981.4	平5.10
気仙沼消防署					
防災センター					
気仙沼消防署 本吉分署	〒988-0309 気仙沼市本吉町津谷松尾1番地1	700.80	鉄筋コンクリート 2階建	建 208.25 延 314.50	昭48. 1
気仙沼消防署 唐桑出張所	〒988-0524 気仙沼市唐桑町只越346番地13	2642.50	鉄筋コンクリート 平屋建	建 451.47 延 425.25	平28. 5
気仙沼消防署 古町出張所	〒988-0077 気仙沼市古町1丁目6番17号	1145.67	鉄筋コンクリート 2階建	建 309.47 延 580.50	平26. 7
気仙沼消防署 大島出張所	〒988-0604 気仙沼市廻館113番地1	429.40	軽量鉄骨造一部 木造平屋建	建 153.7 延 150.9	昭54. 3 平14.10増
南三陸消防署	〒986-0725 南三陸町志津川字沼田100番地61 (仮設庁舎)	1751.00	軽量鉄骨造一部 2階建	建 365.14 延 528.94	平25. 3
南三陸消防署 歌津出張所	〒988-0423 南三陸町歌津字柗沢28番地1	1684.97	鉄筋コンクリート 平屋建	建 460.97 延 433.80	平29. 3

待 機 宿 舎 位 置

(平成30年4月1日現在)

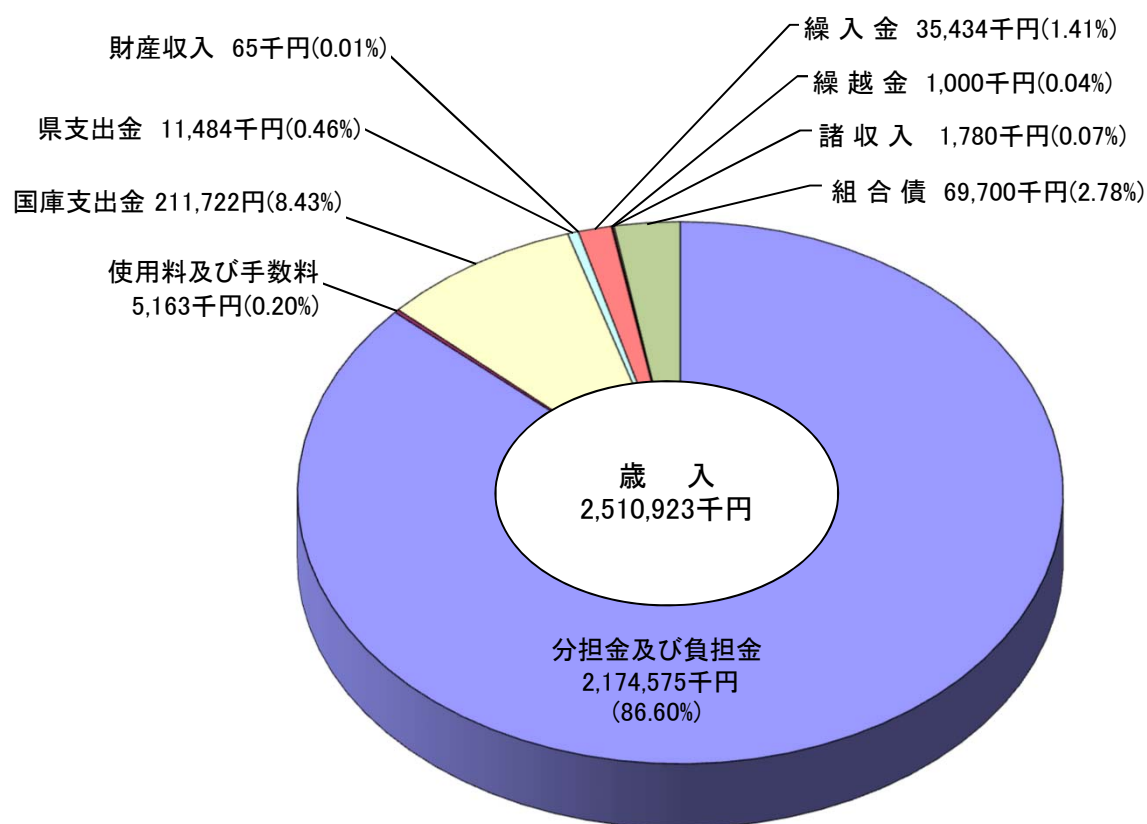
所 在 地	室 数	構 造	面 積(㎡)	竣 工
〒988-0171 気仙沼市赤岩牧沢44番地114	単身用4室	木 造 1 階 建	115.93	平9. 3
〒988-0535 気仙沼市唐桑町馬場189番地7	世帯用2室	鉄 骨 耐 火 構 造 1 階 建	99.84	昭57. 2
〒988-0309 気仙沼市本吉町津谷松尾68番地9	世帯用2室	鉄 骨 耐 火 構 造 1 階 建	100.00	昭58. 3
〒986-0776 南三陸町志津川字竹川原47番地4	世帯用6室	鉄 骨 耐 火 構 造 2 階 建	297.61	昭55. 3

総務



気仙沼消防署唐桑出張所 消防ポンプ自動車CD-I型(平成30年3月更新)

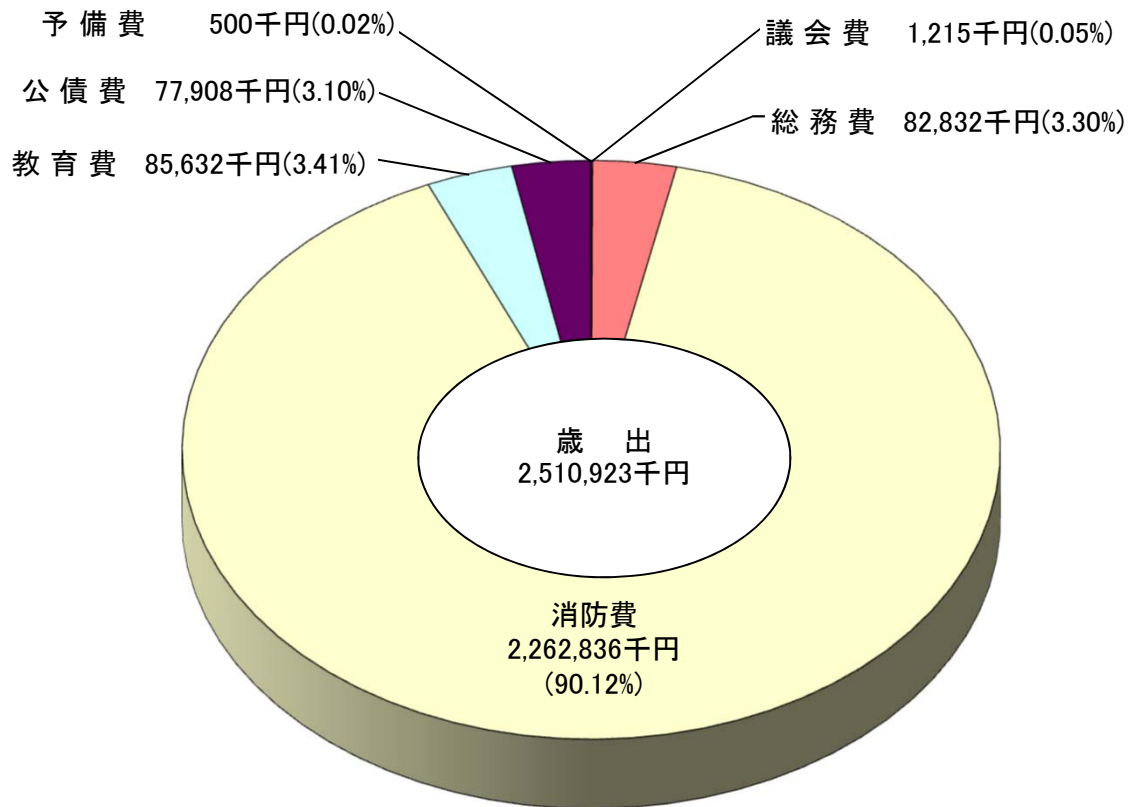
平成30年度当初歳入予算



(単位：千円)

科 目	平成30年度予算額	平成29年度当初予算額	比 較
分 担 金 及 び 負 担 金	2,174,575	1,669,863	504,712
使 用 料 及 び 手 数 料	5,163	4,737	426
国 庫 支 出 金	211,722	14,807	196,915
県 支 出 金	11,484	11,566	△ 82
財 産 収 入	65	85	△ 20
繰 入 金	35,434	69,336	△ 33,902
繰 越 金	1,000	1	999
諸 収 入	1,780	1,776	4
組 合 債	69,700	48,100	21,600
合 計	2,510,923	1,820,271	690,652

平成30年度当初歳出予算



(単位：千円)

科 目	平成30年度予算額	平成29年度当初予算額	比 較
議 会 費	1,215	1,183	32
総 務 費	82,832	86,611	△ 3,779
消 防 費	2,262,836	1,568,681	694,155
教 育 費	85,632	92,516	△ 6,884
公 債 費	77,908	70,780	7,128
予 備 費	500	500	0
合 計	2,510,923	1,820,271	690,652

平成30年度(当初)組合消防費にかかる性質別歳出の財源内訳

(単位:千円)

区 分	予 算 額	財 源 内 訳			
		負 担 金	国・県支出金	組 合 債	そ の 他
人 件 費	1,329,428	1,315,075	11,484		2,869
扶 助 費	19,865	19,865			
物 件 費	156,861	156,597			264
補 助 費 等	9,995	9,989			6
維 持 補 修 費	11,196	11,196			
普通建設事業費	79,970	10,270		69,700	
災害復旧事業費	655,521	443,799	211,722		
公 債 費	77,908	74,678			3,230
積 立 金	0				
予 備 費	500	500			
合 計	2,341,244	2,041,969	223,206	69,700	6,369

平成30年度(当初)構成市町の一般会計と消防予算

(単位:千円)

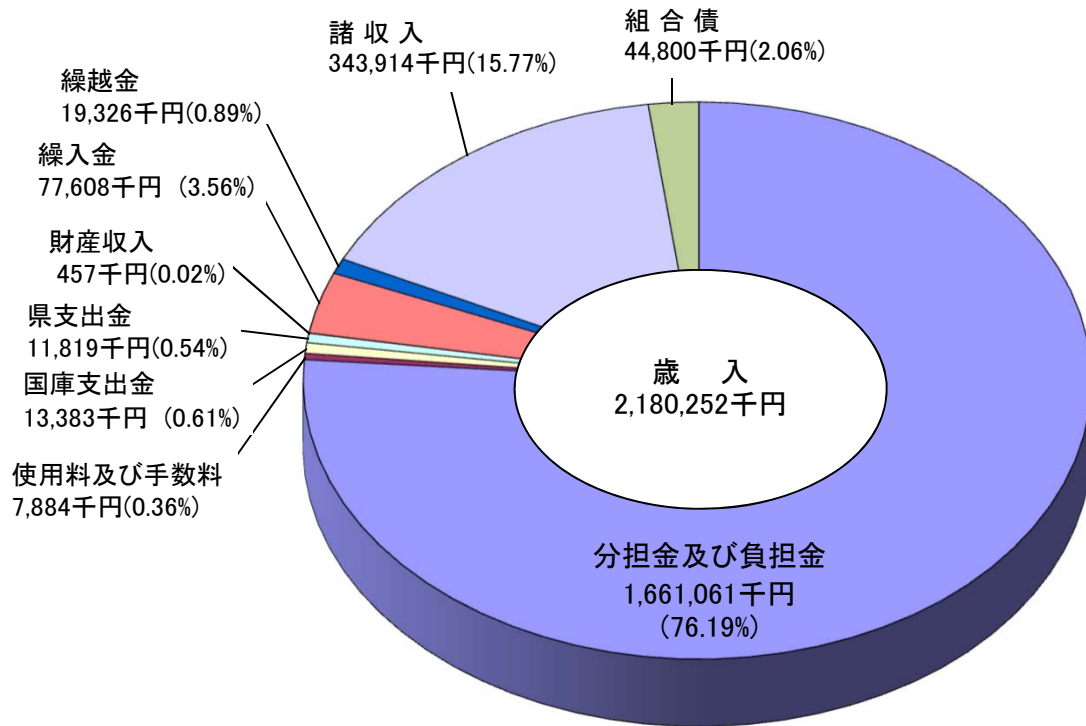
区 分	一 般 会 計 A	消 防 費 B	内 訳			割 合 B/A (%)
			常 備	非 常 備	そ の 他	
気 仙 沼 市	85,478,083	1,553,504	1,231,625	182,571	139,308	1.82
南 三 陸 町	33,000,000	946,940	810,344	44,833	91,763	2.87
合 計	118,478,083	2,500,444	2,041,969	227,404	231,071	2.11

平成29年度(決算)構成市町負担金負担割合

(単位:千円)

区 分	消 防 費 基 準 財 政 需 要 額		消 防 費 負 担 金	
	金 額 (千円)	構 成 比 (%)	金 額 (千円)	構 成 比 (%)
気 仙 沼 市	1,059,714	78.23	1,146,594	75.26
南 三 陸 町	294,840	21.77	376,925	24.74
合 計	1,354,554	100.00	1,523,519	100.00

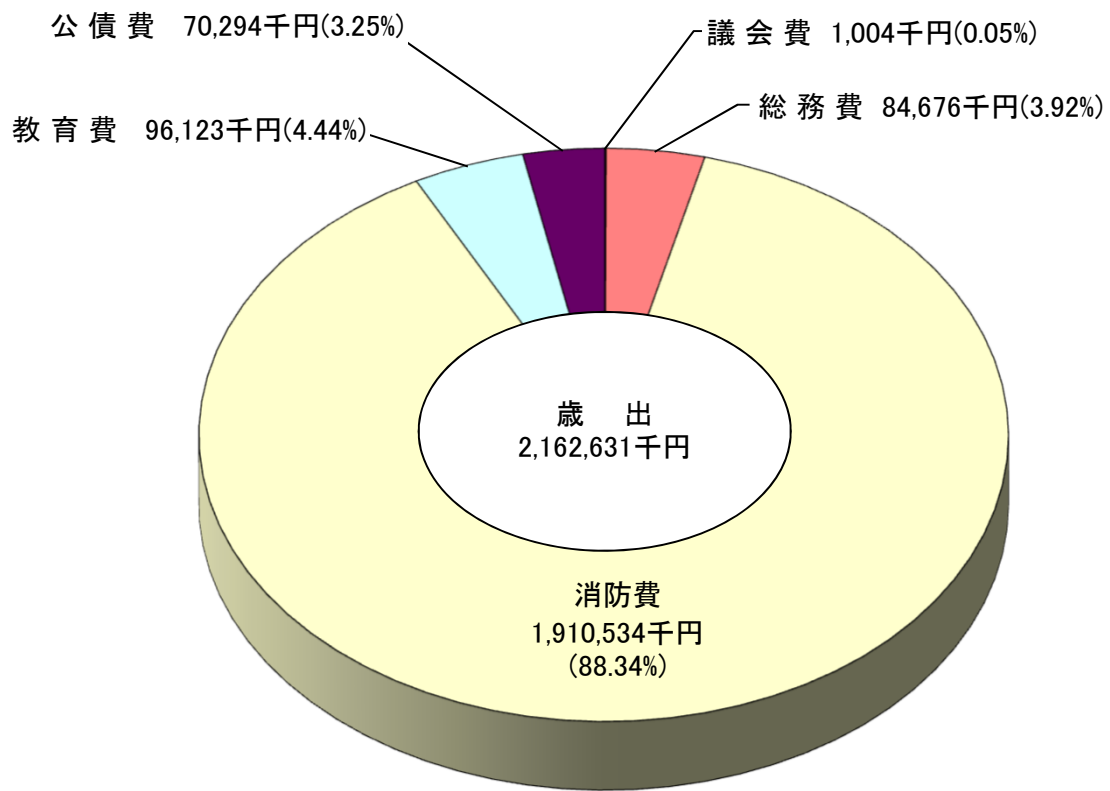
平成29年度歳入決算



(単位：千円)

科 目	平成29年度予算額(最終)	平成29年度決算額	比 較
分 担 金 及 び 負 担 金	1,661,061	1,661,061	0
使 用 料 及 び 手 数 料	7,622	7,884	262
国 庫 支 出 金	13,383	13,383	0
県 支 出 金	11,818	11,819	1
財 産 収 入	526	457	△ 69
繰 入 金	77,759	77,608	△ 151
繰 越 金	19,325	19,326	1
諸 収 入	343,587	343,914	327
組 合 債	44,800	44,800	0
合 計	2,179,881	2,180,252	371

平成29年度歳出決算



(単位：千円)

科 目	平成29年度予算額(最終)	平成29年度決算額	比 較
議 会 費	1,183	1,004	179
総 務 費	87,363	84,676	2,687
消 防 費	1,923,242	1,910,534	12,708
教 育 費	97,218	96,123	1,095
公 債 費	70,375	70,294	81
予 備 費	500	0	500
合 計	2,179,881	2,162,631	17,250

消 防 職 員 配 置 状 況

(平成30年4月1日現在)

区 分		合 計	消防監	消 防 司 令 長	消防司令	消 防 司 令 補	消防士長	消防士	事務吏員
消 防 本 部	消 防 長	1	1						
	次 長	1		1					
	総 務 課	9		1	2	1	1	3	1
	予 防 課	3		1	1	1			
	警 防 課	3		1	1	1			
	通 信 指 令 課	10		1	2	4	3		
	小 計	27	1	5	6	7	4	3	1
気 仙 沼 消 防 署 管 内	気仙沼消防署	40		3	5	8	9	15	
	本 吉 分 署	20		1	1	5	4	9	
	唐 桑 出 張 所	16			1	5	5	5	
	古 町 出 張 所	18			2	4	4	8	
	大 島 出 張 所	16			2	3	5	6	
	小 計	110		4	11	25	27	43	
南 三 陸 消 防 署 管 内	南三陸消防署	31		3	3	5	9	11	
	歌 津 出 張 所	16			1	5	4	6	
	小 計	47		3	4	10	13	17	
合 計		184	1	12	21	42	44	63	1

※ 総務課には、宮城県消防学校派遣 1 名及び宮城県防災航空隊派遣 1 名、宮城県消防学校初任総合教育入校者 3 名を含む。

消 防 職 員 階 級 別 勤 続 年 数

(平成30年4月1日現在)

階級 勤続年数	合 計	消防監	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消防士	事務吏員
平均勤続年数	13.7	40.0	34.7	24.3	18.5	11.5	4.0	23.0
合 計	184	1	12	21	42	44	63	1
1 年 未 満	3						3	
1 年 以 上	3						3	
2 "	9						9	
3 "	11						11	
4 "	12						12	
5 "	10					2	8	
6 "	11					3	8	
7 "	12				2	2	8	
8 "	7					6	1	
9 "	8					8		
10 "	4					4		
11 "	6				2	4		
12 "	7				1	6		
13 "								
14 "	2				2			
15 "	3				2	1		
16 "	4				3	1		
17 "	6				5	1		
18 "	4			1	2	1		
19 "	5				4	1		
20 "	6			1	5			
21 "	6			3	2	1		
22 "	6			1	4	1		
23 "	8			2	5			1
24 "	7			6		1		
25 "								
26 "	4			3	1			
27 "	2			2				
28 "	3		1		2			
29 "								
30 "								
31 "								
32 "	2		1	1				
33 "	2		2					
34 "	3		2	1				
35 "								
36 "	3		3					
37 "	3		2			1		
38 "								
39 "								
40 "	2	1	1					
41 "								
42 "								

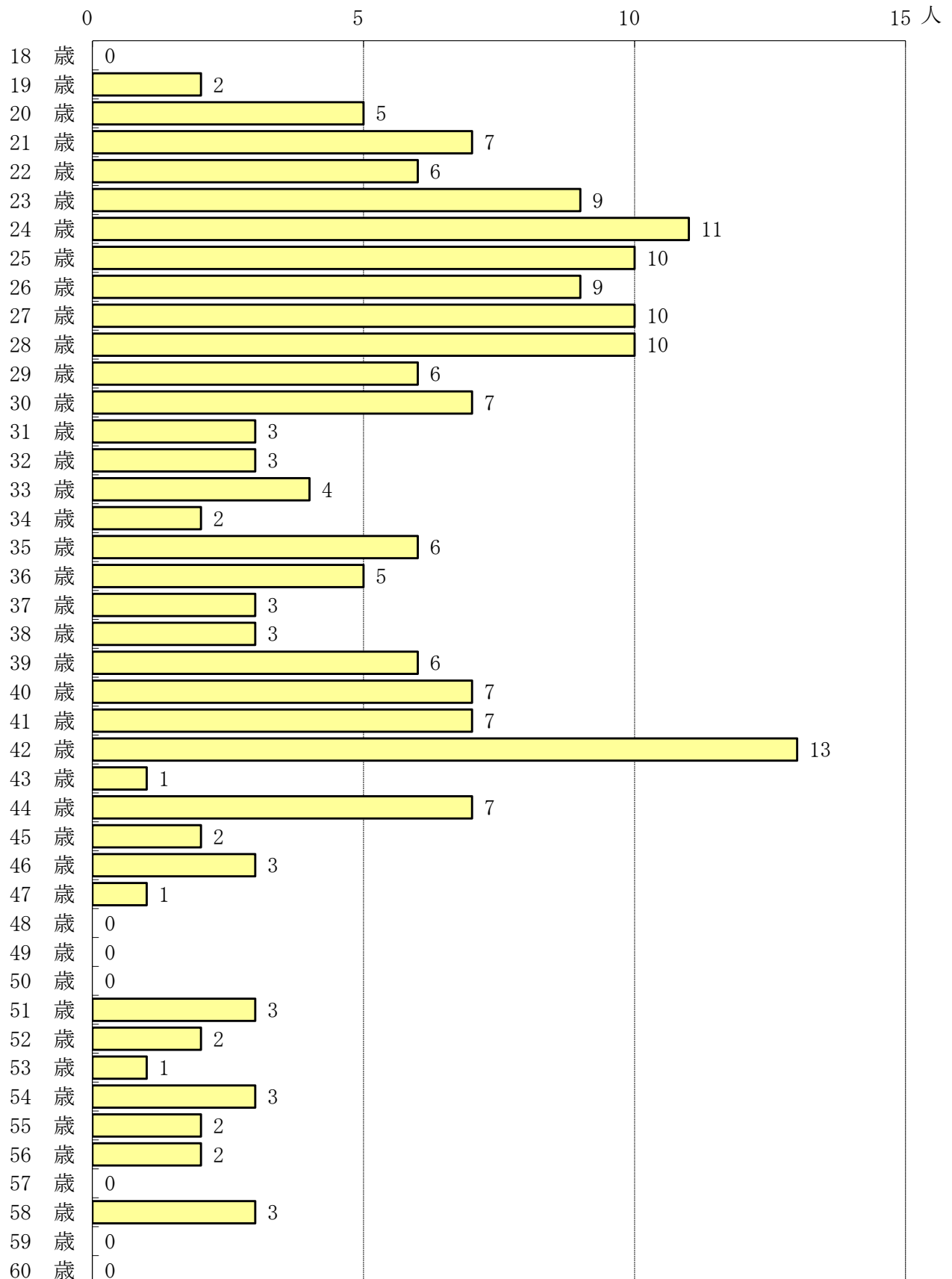
消 防 職 員 階 級 別 年 齡

(平成30年4月1日現在)

階級 年 齡	合 計	消防監	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消防士	事務吏員
平 均 年 齡	33.4	58.0	53.9	43.6	38.5	31.5	23.6	42.0
合 計	184	1	12	21	42	44	63	1
18 歳								
19 歳	2						2	
20 歳	5						5	
21 歳	7						7	
22 歳	6						6	
23 歳	9						9	
24 歳	11						11	
25 歳	10						10	
26 歳	9					3	6	
27 歳	10					6	4	
28 歳	10					8	2	
29 歳	6				2	4		
30 歳	7				1	5	1	
31 歳	3					3		
32 歳	3				1	2		
33 歳	4				2	2		
34 歳	2				1	1		
35 歳	6				3	3		
36 歳	5				3	2		
37 歳	3				3			
38 歳	3			1	2			
39 歳	6			1	4	1		
40 歳	7				6	1		
41 歳	7				6	1		
42 歳	13			9	2	1		1
43 歳	1				1			
44 歳	7			5	2			
45 歳	2			2				
46 歳	3			1	2			
47 歳	1				1			
48 歳								
49 歳								
50 歳								
51 歳	3		3					
52 歳	2		1	1				
53 歳	1			1				
54 歳	3		3					
55 歳	2		2					
56 歳	2		2					
57 歳								
58 歳	3	1	1			1		
59 歳								
60 歳								

消防職員年齢構成図

(平成30年4月1日現在)



学校等教育状況

(過去10年)

年度(平成)			種 別	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	計
宮城県消防学校	初 任 総 合 教 育			3	9	11	12	10	13	13	7	9	4	91
	専 科 教 育	警 防 科			2		2		2			2		8
		火 災 調 査 科		2	2	2		2			2		2	12
		予 防 査 察 科		2		2	2				2			8
		危 険 物 科			2			2				2		6
		特 殊 災 害 科		2		2			2				2	8
		救 助 科							1					1
		幹 部 教 育	初 級 幹 部 科			2	2	2		2			2	
	中 級 幹 部 科		2		2		2			2		2	10	
	上 級 幹 部 科		1					1			1		3	
	特 別 教 育	はしご自動車操作		1				2						3
		薬 剤 投 与 講 習									4	5	3	12
		救急救命士再教育		2	2	2	2	3	4					15
		救急救命士処置拡大		8	8	4	2							22
		指 揮 隊 長 教 育		1	1	1								3
		救 助 隊 長 教 育			1									1
		救助隊員再教育		2										2
	小 計			26	29	28	22	21	25	13	17	21	13	215
消防大学校	総 合 教 育	幹 部 科			1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
	専 科 教 育	警 防 科						1						1
		救 助 科								1				1
		救 急 科				1				1				2
		予 防 科					1					1		2
		危 険 物 科						1						1
		火 災 調 査 科							1					1
	小 計				1	2	2	3	2	3	1	2	1	17
救急救命東京研修所			1	1	2	2	2	2	1	1	2	2	16	
合 計			27	31	32	26	26	29	17	19	25	16	248	

職 員 資 格 取 得 状 況

(平成30年4月1日現在)

階 級		総 数	消防司令長 以 上	消防司令	消 司 防 司 令 補	消防士長	消 防 士	
種 別	消防吏員数							
		183	13	21	42	44	63	
大 型 免 許	2 種	12	1	3	5	3		
	1 種	118	9	16	32	35	26	
	特 殊	10			6	3	1	
	け ん 引	4			1	2	1	
中 型 免 許	1 種	116	13	21	42	31	9	
準中型免許	1 種	66				13	53	
普 通 免 許	2 種	14	1	2	8	3		
	1 種	1					1	
自 動 2 輪	普 通	58	8	6	14	17	13	
	大 型	25	4	3	10	7	1	
整 備 管 理 者		4	2	1	1			
救 急 救 命 士		46	5	8	13	11	9	
	気 管 挿 管 認 定	38	5	8	13	11	1	
	薬 剤 投 与 認 定	45	5	8	13	11	8	
	ブドウ糖投与等認定	25		4	12	6	3	
潜 水 士		42	4	8	15	14	1	
小 型 船 舶 操 縦 士	1 級	12		1	7	4		
	2 級	36	4	5	14	11	2	
無 線	陸 上 特 殊	1 級	4		1	1	2	
		2 級	94	5	4	4	22	59
		3 級	66		9	37	20	
		国内電信級	1					1
	海上特殊	1 級	5				1	4
		2 級	13	1	1	8	3	
	ア マ チュア	4 級	2	2				
		電話級	1			1		
小 型 移 動 式 ク レ ーン		66	9	13	27	12	5	
玉 掛 技 能		65	9	13	28	12	3	
特定化学物質等作業主任者		2		2				
特別管理産業廃棄物管理責任者		10		4	6			
アセチレンガス溶接士		9	3		4	1	1	
電 気 工 事 士		3		1	1		1	
衛 生 管 理 者	第 1 種	2	2					
	第 2 種	7	4	2	1			
危 険 物 取 扱 者	甲 種	2			2			
	乙 種	172	8	20	42	42	60	
消 防 設 備 士	甲 種	1			1			
	乙 種	17	3	1	8	4	1	
予防技術検定	予 防 査 察	93	4	6	28	29	26	
	消防用設備等	25		4	14	7		
	危 険 物	39	2	3	16	15	3	

防 予

火の用心 ことばを形に 習慣に



「第7回消防絵画コンクール」最優秀賞 気仙沼市立唐桑小学校5年 小松 輝（こまつ ひかる）

火事・救急・救助は119
秋の火災予防運動 11月9日～11月15日
住宅用火災警報器を正しく設置しましょう!

気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部 宮城県消防協会本吉地区支部 気仙沼市防火管理者協会 気仙沼市唐桑切防火管理者協会
本吉町防火管理者協会 南三陸町防火管理者協会 危険物安全協会気仙沼支部 危険物安全協会南三陸支部



第7回消防絵画コンクール 最優秀賞
気仙沼市立唐桑小学校 5年 小松 輝 さん



防 火 対 象 物

消防法第17条対象物

(平成30年3月31日現在)

用 途 別 署 所 別			合 計	気 仙 沼 市					南 三 陸 町	
				気 仙 沼 消 防 署	本 吉 分 署	唐 桑 出 張 所	古 町 出 張 所	大 島 出 張 所	南 三 陸 消 防 署	歌 津 出 張 所
1	イ	劇場・映画館・演芸場等	2	1	1					
	ロ	公会堂・集会場	137	28	32	15	13	6	32	11
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等								
	ロ	遊技場・ダンスホール	11	6			5			
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等								
3	ニ	カラオケボックス等	3	3						
	イ	待合・料理店等								
4	ロ	飲食店	54	20	6	3	16	2	6	1
	百貨店・マーケット・店舗等		155	71	10	6	42	2	21	3
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	92	11	3	13	12	24	17	12
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	368	167	22	5	102	3	49	20
6	イ	(1) 病院等	3	2			1			
		(2) 診療所等								
		(3) 助産所等（入所施設有）	8	1	1		6			
		(4) 助産所等（入所施設無）	21	9	2	1	7	1	1	
	ロ	(1) 養護老人ホーム等	34	8	6	4	9	1	4	2
		(2) 救護施設								
		(3) 乳児院								
		(4) 障害児入所施設								
		(5) 障害者支援施設等	8		3	5				
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター等	19	4	5	1	5		2	2
		(2) 更生施設								
		(3) 助産施設・保育所等	28	8	2	3	10	2	1	2
		(4) 児童発達支援センター等								
		(5) 身体障害者福祉センター等	12	4	1	5			1	1
	ニ	幼稚園・特別支援学校	18	6	4	2	4		2	
7	学 校 ・ 各 種 学 校 等		112	43	18	8	20	4	13	6
8	図 書 館 ・ 博 物 館 ・ 美 術 館 等		7	1		2	2		1	1
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等								
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場								
10	車 両 の 停 車 場 等		1				1			
11	神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会 等		57	11	10	5	17	3	9	2
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	426	168	43	26	91	3	64	31
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	1				1			
13	イ	自動車車庫・駐車場	19	6	1		10		1	1
	ロ	飛行機などの格納庫								
14	倉 庫		274	130	23	11	54	1	43	12
15	前各項に該当しない事業場		325	120	33	17	95	3	44	13
16	イ	特定部分を含む複合用途防火対象物	139	66	5	5	42	2	15	4
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	83	48	6	1	18	1	7	2
16の2		地 下 街								
16の3		準 地 下 街								
17	文 化 財 等		8				5		2	1
合 計			2,425	942	237	138	588	58	335	127

用途別消防用設備等の設置状況

(平成30年3月31日現在)

消防用設備等 用 途 別			消 火 設 備			警 報 設 備			避 難 設 備	
			消 火 器	屋 内 消 火 栓	ク ス プ ラ リ ン	報 自 知 動 設 火 備 災	警 漏 報 電 火 器 災	警 非 報 設 備 常	避 難 器 具	誘 導 灯
1	イ	劇場・映画館・演芸場等	2	1	1	2		2		2
	ロ	公会堂・集会場	82	7		33	1	52	1	72
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等	1							
	ロ	遊技場・ダンスホール	11			11		7	1	11
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等								
	ニ	カラオケボックス等	3			3		1	1	3
3	イ	待合・料理店等								
	ロ	飲食店	54			21	1	20	2	63
4		百貨店・マーケット・店舗等	155	15	3	79	1	36		142
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	92	18	3	109	16	26	14	105
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	368	5		106	1	17	53	13
6	イ	(1) 病院等	3	1	2	3		1	1	3
		(2) 診療所等								
		(3) 助産所等（入所施設有）	8	4	1	8	4	4	1	7
		(4) 助産所等（入所施設無）	21			13	1	5	1	24
	ロ	(1) 養護老人ホーム等	34		31	34		1	3	34
		(2) 救護施設								
		(3) 乳児院								
		(4) 障害児入所施設								
		(5) 障害者支援施設等	8		6	9				7
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター等	19	2		9		1	1	20
		(2) 更生施設								
		(3) 助産施設・保育所等	28	2		20	2	2		12
		(4) 児童発達支援センター等								2
		(5) 身体障害者福祉センター等	12			7		2		11
	ニ	幼稚園・特別支援学校	18	4		12	4	3		11
7		学 校 ・ 各 種 学 校 等	112	71		90	2	27	23	20
8		図 書 館 ・ 博 物 館 ・ 美 術 館 等	7	1		2		3	1	5
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等								
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場								
10		車 両 の 停 車 場 等	1							
11		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会 等	46			2	2	27		4
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	421	73		173		4		68
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	1							1
13	イ	自動車車庫・駐車場	19			5				15
	ロ	飛行機などの格納庫								
14		倉 庫	267	27		75	2			42
15		前各項に該当しない事業場	260	21		60	1	54	13	86
16	イ	特定部分を含む複合用途防火対象物	137	14	9	93	1	23	14	104
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	68	5		18	1	4	1	16
16の2		地 下 街								
16の3		準 地 下 街								
17		文 化 財 等	8			7	3			2
合 計			2,266	271	56	1,004	43	322	131	905

用途別予防査察状況

(平成29年度中)

署 所 別 用 途 別			合 計	気 仙 沼 市					南 三 陸 町	
				気 仙 沼 消 防 署	本 吉 分 署	唐 桑 出 張 所	古 町 出 張 所	大 島 出 張 所	南 三 陸 消 防 署	歌 津 出 張 所
1	イ	劇場・映画館・演芸場等	1		1					
	ロ	公会堂・集会場	81	6	25	11	6	6	16	11
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等								
	ロ	遊技場・ダンスホール	9	3			6			
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等								
	ニ	カラオケボックス等	1	1						
3	イ	待合・料理店等								
	ロ	飲食店	36	7	7	2	6	2	8	4
4		百貨店・マーケット・店舗等	58	10	8	4	17	2	13	4
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	129	27	5	13	11	26	20	27
	ロ	寄宿舍・下宿・共同住宅	96	22	20	5	10	2	20	17
6	イ	(1) 病院等	1				1			
		(2) 診療所等								
		(3) 助産所等（入所施設有）	3		1		2			
		(4) 助産所等（入所施設無）	13	4	1	1	5	1	1	
	ロ	(1) 養護老人ホーム等	28	8	8	4		1	3	4
		(2) 救護施設								
		(3) 乳児院								
		(4) 障害児入所施設								
		(5) 障害者支援施設等	8		3	5				
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター等	12	1	3	1	1		2	4
		(2) 更生施設								
		(3) 助産施設・保育所等	28	7	3	2	9	2	1	4
		(4) 児童発達支援センター等								
		(5) 身体障害者福祉センター等	11		2	5			1	3
	ニ	幼稚園・特別支援学校	10	1	1	2	4		2	
7		学校・各種学校等	86	22	14	6	15	4	19	6
8		図書館・博物館・美術館等	1						1	
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等								
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場								
10		車両の停車場等	1				1			
11		神社・寺院・教会等	41	4	8	3	12	3	9	2
12	イ	工場・作業場	117	4	27	14	16	3	22	31
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ								
13	イ	自動車車庫・駐車場	7		4		1		1	1
	ロ	飛行機などの格納庫								
14		倉庫	73	4	25	4	9	1	19	11
15		前各項に該当しない事業場	75	3	23	7	14	3	17	8
16	イ	特定部分を含む複合用途防火対象物	48	23	3	3		2	12	5
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	23	2	6	1	8	1	3	2
	16の2	地下街								
	16の3	準地下街								
17		文化財等	7				4		3	
合 計			1,004	159	198	93	158	59	193	144

用途別中高層建築物の現況

(平成30年3月31日現在)

区 分 用 途 別			対 法 象 第 物 17 数 条	法 第 8 条 対 象 物 数		中 高 層 建 築 物					
				甲種	乙種	3 階	4 階	5 階	6 階	7 階	8 階 以上
1	イ	劇場・映画館・演芸場等	2	2		1					
	ロ	公会堂・集会場	137	37	129	1					
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等									
	ロ	遊技場・ダンスホール	11	10							
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等									
	ニ	カラオケボックス等	3	1	1						
3	イ	待合・料理店等		1							
	ロ	飲食店	54	18	30	1					
4		百貨店・マーケット・店舗等	155	75	50	5					
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	92	56	7	9		1	4		3
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	368	39	3	78	20	15	4	1	4
6	イ	(1) 病院等	3	2		1	1		1		
		(2) 診療所等				5					
		(3) 助産所等（入所施設有）	8	4		1	1	2			
		(4) 助産所等（入所施設無）	21	5		4					
	ロ	(1) 養護老人ホーム等	34	31		2	2				
		(2) 救護施設									
		(3) 乳児院									
		(4) 障害児入所施設									
		(5) 障害者支援施設等	8	6							
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター等	19	8	5	1	2				
		(2) 更生施設									
		(3) 助産施設・保育所等	28	18	3	1					
		(4) 児童発達支援センター等		1							
		(5) 身体障害者福祉センター等	12	2	2						
	ニ	幼稚園・特別支援学校	18	10	4						
7		学校・各種学校等	112	39		27	5	1			
8		図書館・博物館・美術館等	7	1	2	1					
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等									
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場									
10		車両の停車場等	1								
11		神社・寺院・教会等	57	25	3		1				
12	イ	工場・作業場	426	21	2	13	1	2			
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	1								
13	イ	自動車車庫・駐車場	19			1					
	ロ	飛行機などの格納庫									
14		倉庫	274			7	2				
15		前各項に該当しない事業場	325	49	9	39	4	5	1	1	
16	イ	特定部分を含む複合用途防火対象物	139	72	5	37	6	6		1	1
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	83	8	1	8	3				
16の2		地下街									
16の3		準地下街									
17		文化財等	8		1						
合 計			2,425	541	257	243	48	32	10	3	8

建 築 同 意 事 務

(平成29年度中)

署 所 別 用 途 別			合 計	気 仙 沼 市			南 三 陸 町	
				気 仙 沼 消 防 署	本 吉 分 署	唐 桑 出 張 所	南 三 陸 消 防 署	歌 津 出 張 所
1	イ	劇 場 ・ 映 画 館 ・ 演 芸 場 等	1				1	
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	18	14		2	2	
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等						
	ロ	遊 技 場 ・ ダ ン ス ホ ー ル						
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等						
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等						
3	イ	待 合 ・ 料 理 店 等						
	ロ	飲 食 店	13	7			6	
4		百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト ・ 店 舗 等	26	15		1	8	2
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル ・ 宿 泊 所 等	3	1			2	
	ロ	寄 宿 舎 ・ 下 宿 ・ 共 同 住 宅	14	12			2	
6	イ	(1) 病 院 等						
		(2) 診 療 所 等						
		(3) 助産所等（入所施設有）	1	1				
		(4) 助産所等（入所施設無）	2	1			1	
	ロ	(1) 養 護 老 人 ホ ー ム 等	4	1	2	1		
		(2) 救 護 施 設						
		(3) 乳 児 院						
		(4) 障 害 児 入 所 施 設						
		(5) 障 害 者 支 援 施 設 等						
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター等	4	2			2	
		(2) 更 生 施 設						
		(3) 助産施設・保育所等	4	3	1			
		(4) 児童発達支援センター等						
		(5) 身体障害者福祉センター等						
	ニ	幼 稚 園 ・ 特 別 支 援 学 校						
7		学 校 ・ 各 種 学 校 等	4	1				3
8		図 書 館 ・ 博 物 館 ・ 美 術 館 等	2	2				
9	イ	蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場 等						
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場						
10		車 両 の 停 車 場 等	8	1	2		5	
11		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会 等	3	1				2
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	39	22		1	9	7
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ						
13	イ	自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	11	1	1		6	3
	ロ	飛 行 機 などの格納庫	1					1
14		倉 庫	43	28	4		5	6
15		前各項に該当しない事業場	83	55	4		16	8
16	イ	特定部分を含む複合用途防火対象物	14	10	1	1	1	1
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	8	8				
16の2		地 下 街						
16の3		準 地 下 街						
	専	用 住 宅	52	52				
	併	用 住 宅	6	3			3	
	そ	の 他	13	6	2	2	2	1
合 計			377	247	17	8	71	34

※古町出張所と大島出張所管内分については、気仙沼消防署で審査している。

危 険 物

危険物施設

(平成30年3月31日現在)

署 所 別 製造所等別		合 計	気 仙 沼 市					南 三 陸 町	
			気 仙 沼 消 防 署	本 吉 分 署	唐 桑 出 張 所	古 町 出 張 所	大 島 出 張 所	南 三 陸 消 防 署	歌 津 出 張 所
合 計		311	116	37	12	71	11	47	17
製 造 所									
貯 蔵 所	小 計	211	77	21	7	57	8	31	10
	屋 内	21	7	3		8	2		1
	屋 外 タ ン ク	18	9	1		3		5	
	屋 内 タ ン ク	5	4			1			
	地 下 タ ン ク	61	21	7	4	14	1	12	2
	簡 易 タ ン ク								
	移 動 タ ン ク	95	32	9	2	29	2	14	7
	屋 外	11	4	1	1	2	3		
取 扱 所	小 計	100	39	16	5	14	3	16	7
	給 油	47	15	7	3	7	3	7	5
	第 一 種 販 売								
	第 二 種 販 売								
	一 般	53	24	9	2	7		9	2
	移 送								

危険物施設の予防査察実施状況

(平成29年度中)

署 所 別 製造所等別		合 計	気 仙 沼 市					南 三 陸 町	
			気 仙 沼 消 防 署	本 吉 分 署	唐 桑 出 張 所	古 町 出 張 所	大 島 出 張 所	南 三 陸 消 防 署	歌 津 出 張 所
合 計		242	80	29	10	53	12	43	15
製 造 所									
貯 蔵 所	小 計	170	57	17	7	42	9	30	8
	屋 内	15	6	3		3	2		1
	屋 外 タ ン ク	12	5	1		1		5	
	屋 内 タ ン ク	2	1			1			
	地 下 タ ン ク	36	7	4	2	10	1	11	1
	簡 易 タ ン ク								
	移 動 タ ン ク	98	37	8	4	27	2	14	6
	屋 外	7	1	1	1		4		
取 扱 所	小 計	72	23	12	3	11	3	13	7
	給 油	39	9	7	3	7	3	5	5
	第 一 種 販 売								
	第 二 種 販 売								
	一 般	33	14	5		4		8	2
	移 送								

危険物事務処理件数

(平成29年度中)

区 分 製造所等別		許 可		完 成		完成検査前検査 (タンク検査)	仮 使 用	種 類 ・ 数 量 変 更	譲 渡 引 渡	廃 止 届	合 計
		設置	変更	設置	変更						
合 計		7	30	9	26		10	3	2	17	104
製 造 所											
貯 蔵 所	小 計	4	15	6	14			2	2	14	57
	屋 内							1		1	2
	屋外タンク	1		1							2
	屋内タンク										
	地下タンク	1	1	3	1			1		3	10
	簡易タンク										
	移動タンク	2	13	2	12				2	9	40
	屋 外		1		1					1	3
取 扱 所	小 計	3	15	3	12		10	1		3	47
	給 油		12	1	9		9				31
	第一種販売										
	第二種販売										
	一 般	3	3	2	3		1	1		3	16
	移 送										

民 間 防 火 組 織

危険物安全協会結成状況

(平成30年4月1日現在)

名 称		結成年月日	会 員 数	摘 要
気仙沼本吉地区危険物安全協会		S48. 4. 24	91	
気仙沼支部	小 計		72	
	気 仙 沼 市	S32. 3. 17	58	
	気 仙 沼 市 唐 桑 町	S35. 8	4	
	気 仙 沼 市 本 吉 町	S35. 8	10	
南三陸支部	小 計		19	
	南 三 陸 町 志 津 川	S35. 8	13	
	南 三 陸 町 歌 津	S35. 8	6	

婦人防火クラブ結成状況

(平成30年4月1日現在)

ク ラ ブ 連 合 会 名		結成年月日	単位クラブ数	会 員 名	事 務 局 所 在 地
1	気 仙 沼 市	S56. 5. 28	12	1, 289	気仙沼市赤岩五駄鱈43-2
2	唐 桑 町	S45. 6. 17	1	133	気仙沼市唐桑町馬場181-1
3	本 吉 町	S50. 4. 9	38	3, 667	気仙沼市本吉町津谷松尾1-1
4	南 三 陸 町	H21. 4. 1	34	2, 185	南三陸町志津川字沼田56-2
5	気仙沼本吉地区 婦人防火クラブ連合会	S56. 8. 11	85	7, 274	気仙沼市赤岩五駄鱈43-2

防火管理者協会結成状況

(平成30年4月1日現在)

名 称		結成年月日	会 員 数	摘 要
1	気 仙 沼 市	S42. 9. 28	150	
2	気 仙 沼 市 唐 桑 町	S52. 11. 21	43	
3	気 仙 沼 市 本 吉 町	S51. 8. 20	50	
4	南 三 陸 町	H26. 4. 22	91	
合 計			334	

幼年消防クラブ結成状況

(平成30年4月1日現在)

市 町 名		結成年月日	ク ラ ブ 数	ク ラ ブ 員 数	摘 要
1	気 仙 沼 市	S57. 6. 10	17	835	
2	気仙沼市唐桑町	H元. 12. 25	3	81	
3	気仙沼市本吉町	S59. 12. 4	5	204	
4	南三陸町志津川	S58. 3. 9	4	181	
5	南三陸町歌津	S56. 6. 4	2	68	
合 計			31	1, 369	

少年消防クラブ結成状況

(平成30年4月1日現在)

ク ラ ブ 名		結成年月日	隊員数	所 在 地
1	中 井 小 学 校	S55. 7. 17	5	気仙沼市唐桑町中井134-3
2	唐 桑 〃	S55. 7. 23	9	気仙沼市唐桑町明戸208-6
3	気 仙 沼 〃	S63. 6. 4	32	気仙沼市笹が陣3-1
4	九 条 〃	H 3. 5. 17	55	気仙沼市九条327
5	津 谷 〃	H29. 4. 25	37	気仙沼市本吉町津谷松岡126
6	入 谷 〃	H29. 11. 13	72	南三陸町入谷字童子下193-2
7	志 津 川 〃	H29. 11. 15	186	南三陸町志津川字城場41
8	戸 倉 〃	H29. 11. 16	57	南三陸町戸倉字津野50- 1
9	伊 里 前 〃	H29. 11. 16	129	南三陸町歌津字伊里前113
10	名 足 〃	H29. 11. 29	51	南三陸町歌津字中山14
11	階 上 中 学 校	H22. 4. 19	117	気仙沼市長磯中原125
12	歌 津 〃	H23. 2. 18	109	南三陸町歌津字伊里前123
13	志 津 川 〃	H29. 5. 19	217	南三陸町志津川字助作1-1
14	志 津 川 高等学校	H29. 6. 13	7	南三陸町志津川字廻館92-2
合 計			1, 083	

警 防



第43回広域消防技術大会(警防技術競技)



生コン協会との協定に基づく緊急水利確保訓練
(平成29年度南三陸町総合防災訓練)

消 防 車 両

消防車両等の配置状況

(平成30年4月1日現在)

所 属 車 両	合 計	消 防 本 部	気 仙 沼 消 防 署	本 吉 分 署	唐 桑 出 張 所	古 町 出 張 所	大 島 出 張 所	南 三 陸 消 防 署	歌 津 出 張 所
合 計	42	7	11	4	3	4	4	6	3
消 防 ポ ン プ 自 動 車	10	1 (非常用)	2	1	1	2	1	1	1
水 槽 付 ポ ン プ 自 動 車	2			1				1	
化 学 車	1		1						
小型動力ポンプ付水槽車	1		1						
は し ご 車 (30m 級)	1		1						
救 助 工 作 車	1		1						
水 難 救 助 車	1		1						
消 防 救 急 艇	1						1		
高 規 格 救 急 自 動 車	8	1 (非常用)	1	1	1	1	1	1	1
指 揮 車	4	2	1					1	
広 報 車	5	1		1	1		1		1
資 機 材 搬 送 車	2		1					1	
事 務 連 絡 車	1	1							
人 員 輸 送 車	1	1							
バ イ ク	3		1 (50cc)			1 (50cc)		1 (125cc)	

消防車両等の配置現況

(平成30年4月 1 日現在)

所 属	名 称	車 名	登録年月	経過年数	無 線 呼 称
消 防 本 部	消防ポンプ車(非常用)	日 野	H18.01	12	本 部 ポンプ 1
	高規格救急車(非常用)	ト ヨ タ	H17.11	12	〃 救 急 1
	指 揮 車	三 菱	H19.03	11	〃 指 揮 1
	指 揮 車	ト ヨ タ	H15.02	15	〃 指 揮 2
	広 報 車	日 産	H25.03	5	〃 広 報 1
	事 務 連 絡 車	ト ヨ タ	H14.12	15	
	人 員 輸 送 車	三 菱	H06.01	24	
気仙沼消防署	消 防 ポンプ自動車	日 野	H29.03	1	気仙沼 ポンプ 1
	消 防 ポンプ自動車	ト ヨ タ	H15.11	14	〃 ポンプ 2
	化 学 車	日 野	H22.12	7	〃 化 学 1
	小型動力ポンプ付水槽車	日 野	H10.03	20	〃 タンク 1
	は し ご 車	日 野	H18.02	12	〃 梯 子 1
	救 助 工 作 車	日 野	H26.03	4	〃 救 助 1
	水 難 救 助 車	ト ヨ タ	H23.09	6	〃 救 助 2
	高規格救急自動車	ト ヨ タ	H22.03	8	〃 救 急 1
	指 揮 車	三 菱	H19.02	11	〃 指 揮 1
	資 機 材 搬 送 車	日 野	H20.07	9	〃 搬 送 1
	バイク (ホンダ 50)	ホ ン ダ	H23.07	6	
本 吉 分 署	消 防 ポンプ自動車	日 野	H19.01	11	本 吉 ポンプ 1
	水槽付ポンプ自動車	日 野	H14.12	15	〃 水 槽 1
	高規格救急自動車	ト ヨ タ	H25.02	5	〃 救 急 1
	広 報 車	三 菱	H20.07	9	〃 広 報 1
唐 桑 出 張 所	消 防 ポンプ自動車	日 野	H30.03	0	唐 桑 ポンプ 1
	高規格救急自動車	ト ヨ タ	H28.12	1	〃 救 急 1
	広 報 車	三 菱	H26.11	3	〃 広 報 1
古 町 出 張 所	消 防 ポンプ自動車	日 野	H25.03	5	古 町 ポンプ 1
	消 防 ポンプ自動車	三 菱	H07.03	23	〃 ポンプ 2
	高規格救急自動車	日 産	H27.02	3	〃 救 急 1
	バイク (ホンダ 50)	ホ ン ダ	H23.07	6	
大 島 出 張 所	消 防 ポンプ自動車	日 野	H24.02	6	大 島 ポンプ 1
	高規格救急自動車	ト ヨ タ	H27.09	2	〃 救 急 1
	広 報 車	日 産	H24.03	6	〃 広 報 1
	消 防 救 急 艇	(株)石垣	H25.03	5	〃 救急艇 1
南三陸消防署	消 防 ポンプ自動車	日 野	H24.02	6	南三陸 ポンプ 1
	水槽付ポンプ自動車	日 野	H14.12	15	〃 水 槽 1
	高規格救急自動車	ト ヨ タ	H22.03	8	〃 救 急 1
	指 揮 車	日 産	H24.03	6	〃 指 揮 1
	資 機 材 搬 送 車	日 野	H24.03	6	〃 搬 送 1
	バイク (カワサキ125)	カ ワ サ キ	H23.07	6	
歌 津 出 張 所	消 防 ポンプ自動車	三 菱	H14.12	15	歌 津 ポンプ 1
	高規格救急自動車	ト ヨ タ	H30.02	0	〃 救 急 1
	広 報 車	三 菱	H26.11	3	〃 広 報 1

消防力の整備指針と現有

消防本部・署所の人員

(台数，算定人員は，消防施設整備計画実態調査：平成27年4月1日現在)

(現有人員数は，平成30年4月1日現在)

区 分		整 備 台 数 (台)	搭 乗 人 員	搭乗人員 に対する 整備台数 (台)	算 定 人 員 (人)		現 有 人員数 (人)	
					整備台数に対する 算定人員			
整備台数に対する人員 (消防隊員・救急隊員・救助隊員・指揮隊員・指揮隊員)	消 防 ポ ン プ 自 動 車	11	5人搭乗	4	60	120	186	143
			4人搭乗	5	60			
			乗換運用	2	0			
	は し ご 自 動 車	1	5人搭乗	—	—	0		
			4人搭乗	—	—			
			乗換運用	1	0			
	化 学 消 防 車	1	5人搭乗	1	15	15		
			4人搭乗	—	—			
			乗換運用	—	—			
	大 型 化 学 車 等 (三 点 セ ッ ト)	0	—	—	—	—		
	消 防 艇	0	—	—	—	—		
	救 急 自 動 車	7	3人搭乗	2	18	18		
			兼務運用	5	0			
	救 助 工 作 車	1	5人搭乗	1	15	15		
指 揮 車	2	3人搭乗	2	18	18			
特殊車等	小型動力ポンプ付 水 槽 車	1	乗換運用	1	0	0		
	水 難 救 助 車	1	乗換運用	1	0			
	消 防 救 急 艇	1	乗換運用	1	0			
	資 機 材 搬 送 車	2	乗換運用	2	0			
	広 報 車	4	乗換運用	4	0			
非常用車両等	非常用ポンプ車	1						
	非常用救急車	1						
	指 揮 車	2						
通 信 員							10	10
予 防 要 員							18	12
専任の予防要員							14	8
警防要員をもって充てる予防要員の数							4	4
総務事務等の執行のために必要な人員							28	23
消防本部及び署所の消防職員の総数							238	184

※大型化学車等の三点セットとは，「大型化学消防車」，「大型高所放水車」，「泡原液搬送車」をいう。

※「消防救急艇」は，固定の消防ポンプを装備していないため特殊車等に計上。

※「人員輸送車」「連絡車」「バイク」は含めず。

※消防職員の総数に予防要員の「警防要員をもって充てる予防要員の数」は含めず。

署所及び動力消防ポンプの基準と現有

(消防施設整備計画実態調査：平成27年4月1日現在)

市 町 名	地 域 名	署 所					動 力 消 防 ポ ン プ 数											
		人 口 (人)	算 定 数	整 備 数	不 足 数	比 率	署所管理分				消防団管理分							
							算 定 数	整 備 数	不 足 数	比 率	算定数		整備数		不足数		比 率	
											消 防 ポ ン プ 自 動 車	小 手 引 動 力 ポ ン プ	消 防 ポ ン プ 自 動 車	小 手 引 動 力 ポ ン プ	消 防 ポ ン プ 自 動 車	小 手 引 動 力 ポ ン プ	消 防 ポ ン プ 自 動 車	小 手 引 動 力 ポ ン プ
											(台)	(口)	(台)	(口)	(台)	(口)	(%)	(%)
											①	ア	①－ ア	ア/① ×100	②	イ	②－イ	イ/② ×100
気 仙 沼 市	市街地	28,256	2	2	0	100	4	4	0	100	8	9	8	9	0	0	100	100
	準市街地	24,197	3	3	0	100	4	4	0	100	6	49	6	34	0	15	100	69.4
	その他	14,815				－				－	3	33	3	33	0	0	100	100
	計	67,268	5	5	0	100	8	8	0	100	17	91	17	76	0	15	100	83.5
南 三 陸 町	市街地	－				－				－							－	－
	準市街地	5,262	2	2	0	100	3	3	0	100	0	13	0	11	0	2	－	84.6
	その他	8,806				－				－	0	24	0	24	0	0	－	100
	計	14,068	2	2	0	100	3	3	0	100	0	37	0	35	0	2	－	94.6
広 域	市街地	28,256	2	2	0	100	4	4	0	100	8	9	8	9	0	0	100	100
	準市街地	29,459	5	5	0	100	7	7	0	100	6	62	6	45	0	17	100	72.6
	その他	23,621				－				－	3	57	3	57	0	0	100	100
	計	81,336	7	7	0	100	11	11	0	100	17	128	17	111	0	17	100	86.7

消 防 水 利

管内水利状況

(平成30年4月1日現在)

署 所 種 別			気仙沼消防署		大島出張所		唐桑出張所		本吉分署		南三陸消防署		歌津出張所		合 計		
合 計 (A) + (B) + (C)			1,060		87		136		408		274		149		2,114		
消 火 栓	小 計 (A)	地 上	429	884	42	55	81	84	181	219	28	163	29	62	790	1,467	
		地 下	455		13		3		38		135		33		677		
	公 設	地 上	389		42		81		179		27		29		747		
		地 下	433		13		3		37		135		33		654		
	私 設	地 上	40						2		1				43		
		地 下	22						1						23		
	防 火 水 槽	小 計 (B)		158		31		48		184		105		85		611	
		100㎡以上		14						4		1		1		20	
40㎡以上 100㎡未満		103		25		38		111		92		80		449			
40㎡未満		41		6		10		69		12		4		142			
プ ー ル (C)			18		1		4		5		6		2		36		

※古町出張所管轄の消防水利は気仙沼消防署に含まれる。

通 信



消防救急デジタル無線



消防指令センター 指令台



通 信

通 信 施 設 の 現 況

(平成30年4月1日現在)

所 属 区 分			合 計	消 防 本 部	沼 澤 消 防 署 内						南 三 陸 消 防 署 内			
					気 管 仙 沼 消 防 署	本 吉 分 署	唐 桑 出 張 所	古 町 出 張 所	大 島 出 張 所	小 計	南 三 陸 消 防 署	歌 津 出 張 所	小 計	
有 線	火 災 報 知 専 用 電 話		14	14										
	加 入	一 般 回 線	22	14		2	1	1	1	5	2	1	3	
		テ レ フ ォ ン サ ー ビ ス	1	1										
		F A X	7	1		1	1	1	1	4	1	1	2	
	I T 回 線	順 次 指 令 メ ー ル	1	1										
		メ ー ル 119	1	1										
	指 令 ・ 無 線 専 用 回 線		13	5	1	1	1	1	1	5	2	1	3	
	直 通 電 話		3	2		1				1				
衛 星 携 帯 電 話			10	3	1	1	1	1	1	5	1	1	2	
自 動 車 ・ 携 帯 用 電 話			7		1	1	1	1	1	5	1	1	2	
デ ジ タ ル 無 線	消 防	固 定 局		5	5									
		基 地 局		3	3									
		中 継 局		1	1									
		陸上移動局	卓 上 型 固 定	6			1	1	1	1	4	1	1	2
			可 搬	4	1	1					1	2		2
			車 載	39	6	11	4	3	3	4	25	5	3	8
			携 帯	31	3	8	3	3	3	3	20	5	3	8
		車 両 運 用 端 末 装 置		38	5	11	4	3	3	4	25	5	3	8

119 番 受 信 件 数

(平成29年)

種別	月別												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火 災	5	0	6	3	12	0	11	0	1	1	22	5	66
	(2)	(0)	(4)	(3)	(10)	(0)	(7)	(0)	(1)	(1)	(9)	(3)	(40)
救 急	259	255	238	219	235	241	224	235	252	262	263	274	2,957
	(87)	(82)	(89)	(86)	(92)	(95)	(93)	(93)	(116)	(116)	(106)	(112)	(1167)
救 助	2	0	2	1	1	1	4	1	0	2	0	2	16
	(1)	(0)	(2)	(1)	(1)	(0)	(3)	(1)	(0)	(2)	(0)	(1)	(12)
そ の 他 災 害	4	0	2	3	0	2	4	9	2	4	5	0	35
	(2)	(0)	(2)	(3)	(0)	(2)	(3)	(9)	(2)	(3)	(3)	(0)	(29)
誤 り	5	4	13	9	11	8	8	1	13	8	8	8	96
	(5)	(2)	(4)	(5)	(4)	(6)	(4)	(0)	(6)	(4)	(5)	(5)	(50)
い た ず ら 等	2	0	4	1	1	1	0	0	1	3	1	1	15
	(0)	(0)	(2)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(4)
訓 練 ・ 演 習	38	51	87	32	61	94	58	25	48	74	160	74	802
	(10)	(8)	(24)	(7)	(14)	(22)	(12)	(6)	(14)	(21)	(45)	(25)	(208)
試 験	27	29	26	23	22	14	33	12	19	9	45	49	308
	(8)	(1)	(2)	(2)	(5)	(7)	(8)	(2)	(2)	(0)	(2)	(1)	(40)
そ の 他	53	29	40	30	30	25	44	34	30	52	48	28	443
	(32)	(11)	(23)	(18)	(18)	(13)	(18)	(22)	(18)	(20)	(32)	(11)	(236)
119 転 送	0	0	0	2	2	1	0	2	1	2	1	0	11
	(0)	(0)	(0)	(2)	(2)	(1)	(0)	(2)	(0)	(2)	(1)	(0)	(10)
合 計	395	368	418	323	375	387	386	319	367	417	553	441	4,749
	(147)	(104)	(152)	(128)	(146)	(146)	(148)	(135)	(159)	(170)	(203)	(158)	(1796)

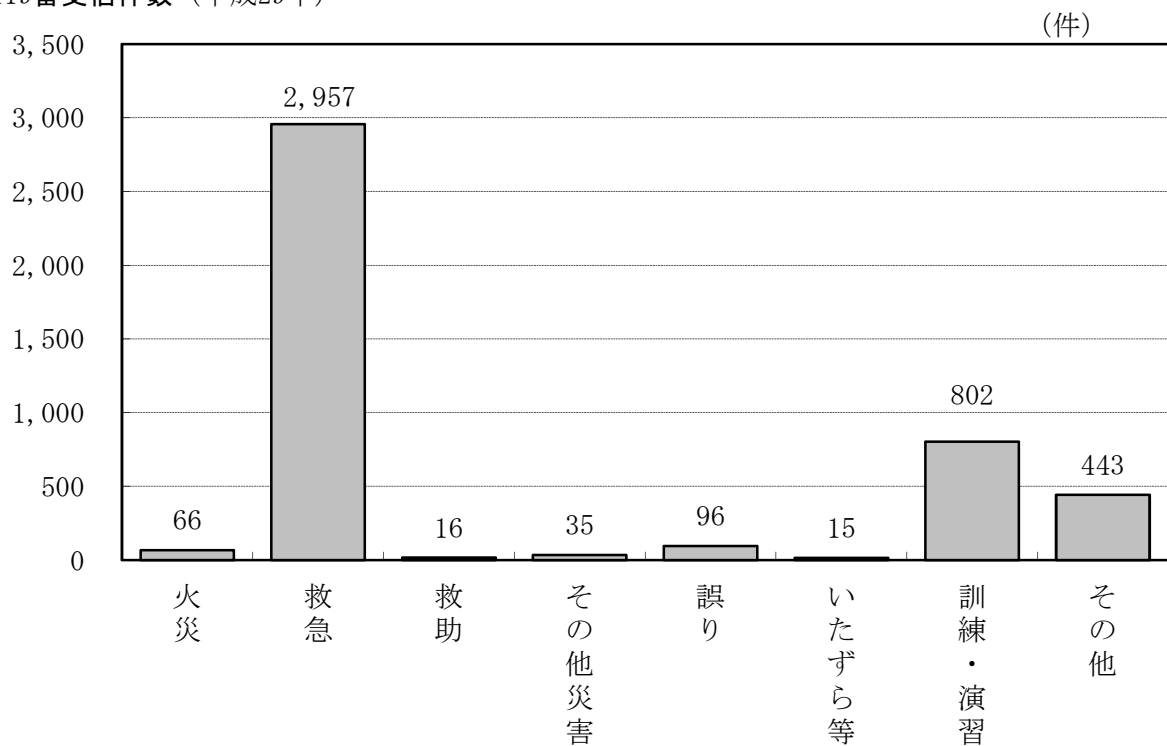
※FAX119・メール119含む

※（ ）は受信件数のうち、携帯電話からの入電件数。

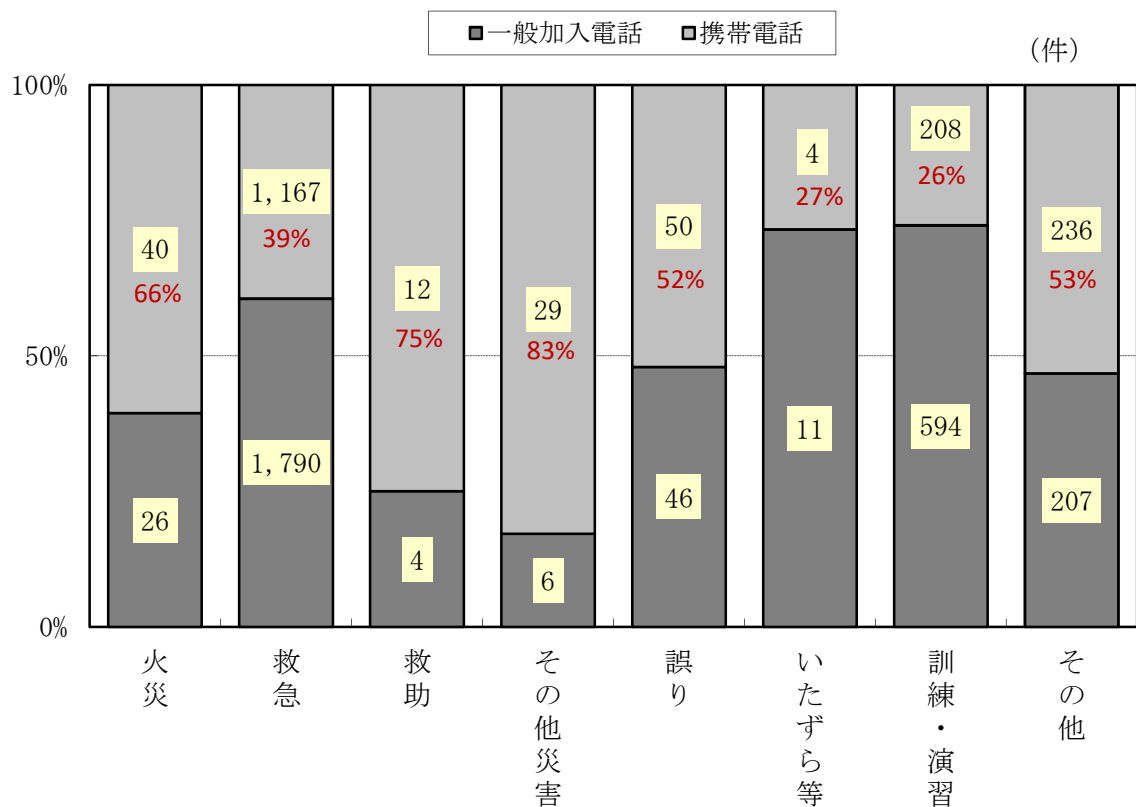
※火災・救急・救助には第2報、第3報も含む。

※「119転送」とは、管轄外で発生している災害を携帯電話等による通報で受信した際に、管轄する消防本部へ転送した件数。

119番受信件数（平成29年）



119番通報 一般加入電話・携帯電話比率（平成29年）



119番通報全体に占める携帯電話比率・・・39%

※ 「試験」「FAX119」「携帯119転送」は除く。

通 信 系 統 図

(平成30年4月1日現在)



気象情報等の受信件数

(平成29年)

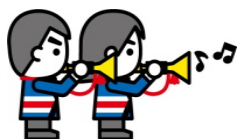
種 別 \ 月 別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
警 報	波 浪									1	1		1	3
	大 雨							1	1	2	1			5
	洪 水							1	2	2	1			6
	暴 風		4	1	2	1	1			2	2	1	2	16
	大 雪													
	暴 風 雪		2										1	3
	津 波													
	大 津 波													
	高 潮										1			1
警 報 計			6	1	2	1	1	2	3	7	6	1	4	34
注 意 報	乾 燥	7	5	4	7	3	2					3	5	36
	強 風	9	10	7	10	5	7	1	2	5	8	10	11	85
	波 浪	5	6	3	4	2	3	1	2	4	4	3	5	42
	大 雨				1		2	4	4	4	2			17
	洪 水				1		2	4	7	5	2			21
	雷	1		1	4	3	5	11	10	4	1	2		42
	濃 霧	1	1	2	6	14	11	12	4	12	13	6	2	84
	大 雪	1											1	2
	風 雪	3	4										3	10
	着 雪	1												1
	低 温	1							1					2
	霜			7	14	1					1	2		25
	高 潮	1						1		1	2			5
	津 波													
注 意 報 計		30	26	24	47	28	32	34	30	35	33	26	27	372
警 報 ・ 注 意 報 計		30	32	25	49	29	33	36	33	42	39	27	31	406

火 災 気 象 通 報	13	12	10	17	9	4			2	3	7	8	85
-------------	----	----	----	----	---	---	--	--	---	---	---	---	----

地 震	震 度 1	10	7	5	8	2	3	7	4	4	2	5	3	60
	震 度 2	5		1			1	5	2	1	3	1	2	21
	震 度 3		1							1		1	1	4
	震 度 4													
	震 度 5 弱													
	震 度 5 強													
	震 度 6 弱													
	震 度 6 強													
	震 度 7													
地 震 計		15	8	6	8	2	4	12	6	6	5	7	6	85

※震度は、気仙沼・本吉広域防災センター（気象庁設置）の震度計データ。

管内消防団

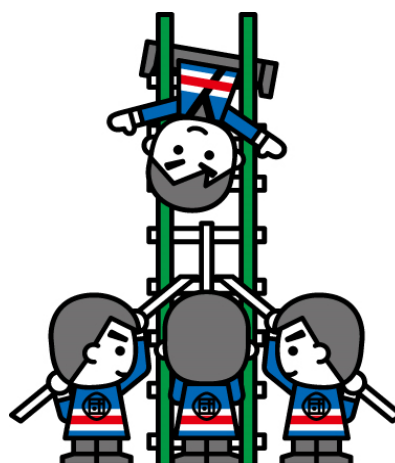
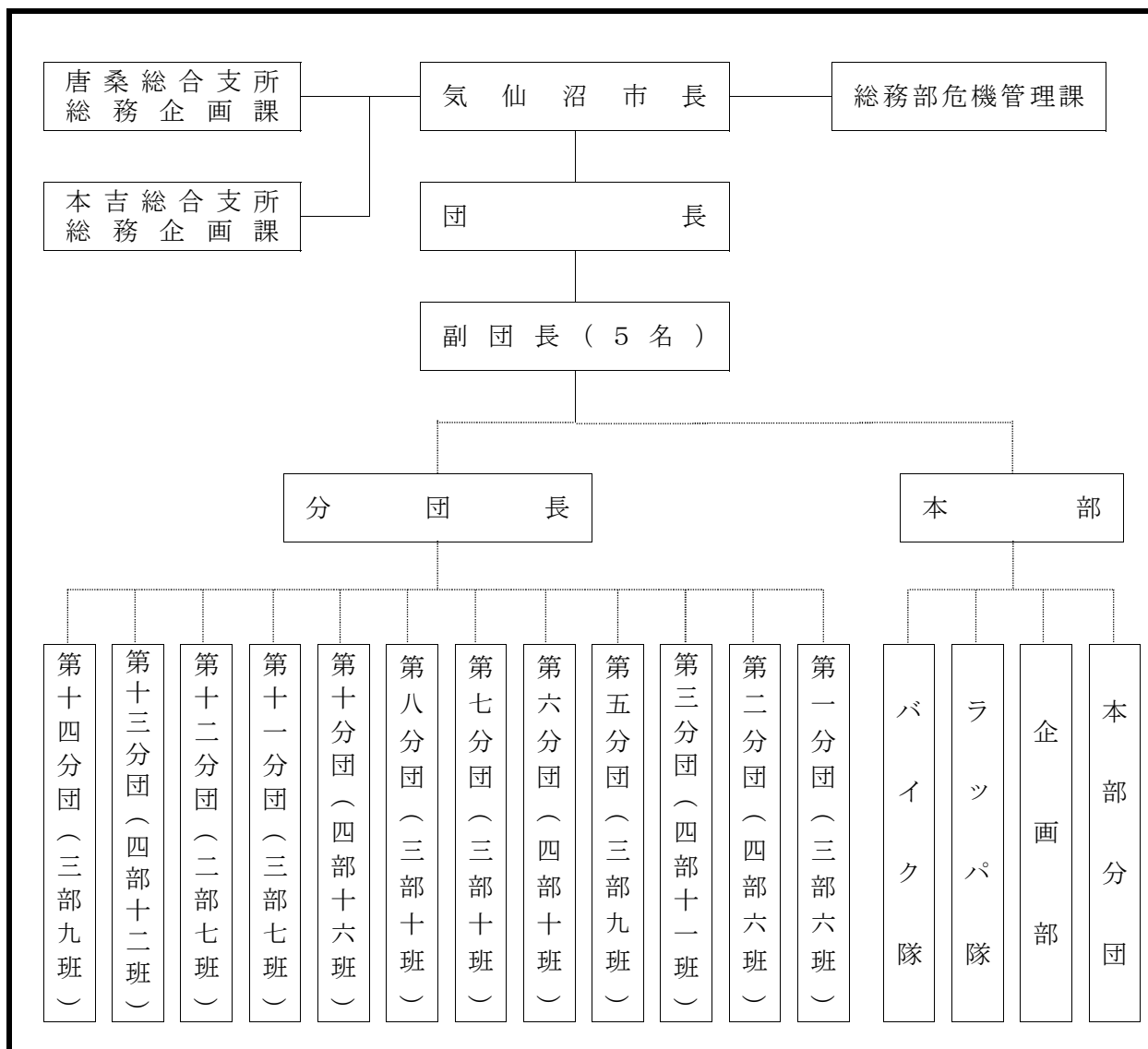


平成30年南三陸町消防出初式

管内消防団

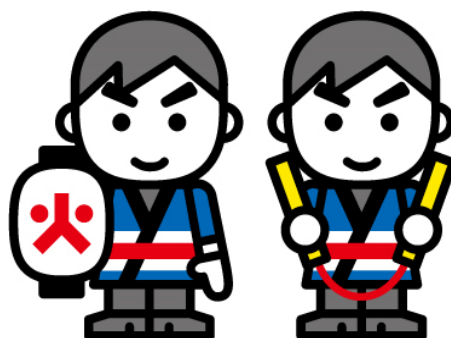
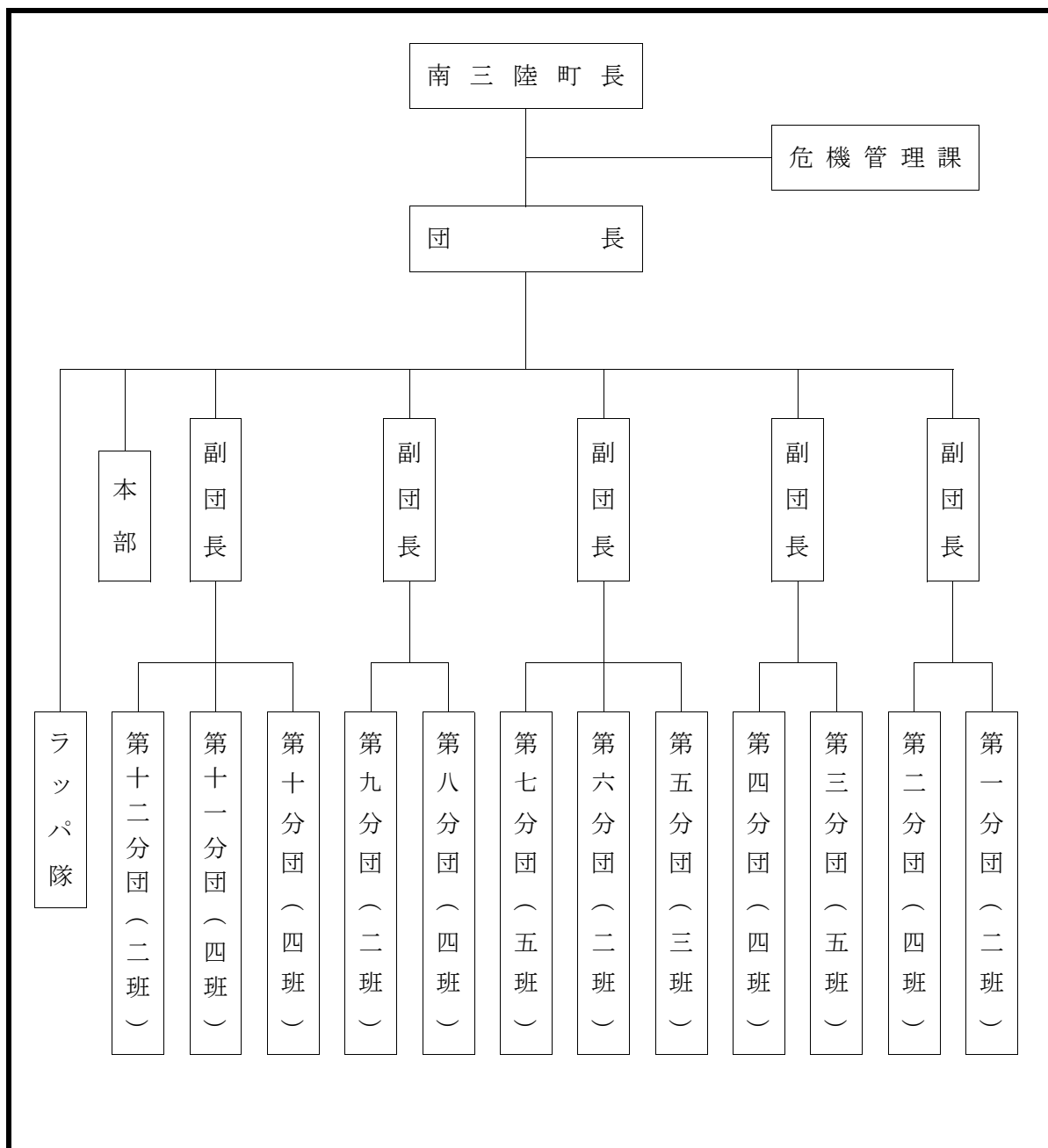
組織機構図：気仙沼市消防団

(平成30年4月1日現在)



組織機構図：南三陸町消防団

(平成30年4月1日現在)



組 織 (平成30年4月1日現在)

区 分 市 町	団 数	分 団 数	部 数	班 数	条例定員数	実 員 数
気 仙 沼 市	1	13	44	115	900	771
南 三 陸 町	1	12		41	500	471
合 計	2	25	44	156	1,400	1,242

階級別消防団員数 (平成30年4月1日現在)

階 級 市 町	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
気 仙 沼 市	1	5	13	26	42	109	575	771
南 三 陸 町	1	5	12	23		39	391	471
合 計	2	10	25	49	42	148	966	1,242

年齢別消防団員数 (平成30年4月1日現在)

年 齢 市 町	20歳未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60歳以上	合 計
気 仙 沼 市	0	40	155	229	219	128	771
南 三 陸 町	0	33	109	175	127	27	471
合 計	0	73	264	404	346	155	1,242

在職年数別消防団員数

(平成30年4月1日現在)

年 数 市 町	5 年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上	合 計
気 仙 沼 市	137	120	117	100	93	67	137	771
南 三 陸 町	94	62	83	72	64	52	44	471
合 計	231	182	200	172	157	119	181	1,242

消防団員報酬

(平成30年4月1日現在) (単位：円)

報 酬 市 町	年 報 酬							出動報酬
	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	
気 仙 沼 市	94,900	77,300	59,200	50,200	42,000	35,400	27,500	5,400
南 三 陸 町	106,800	78,000	58,800	52,800		46,800	24,000	4,000

消防施設の現況

(平成30年4月1日現在)

施 設 市 町	消防ポンプ 自 動 車	積 載 車	小型動力 ポ ン プ	消 火 栓	防火水槽	プール等
気 仙 沼 市	17	69	5	1,242	496	39
南 三 陸 町	0	38	0	226	188	8
合 計	17	107	5	1,468	684	47

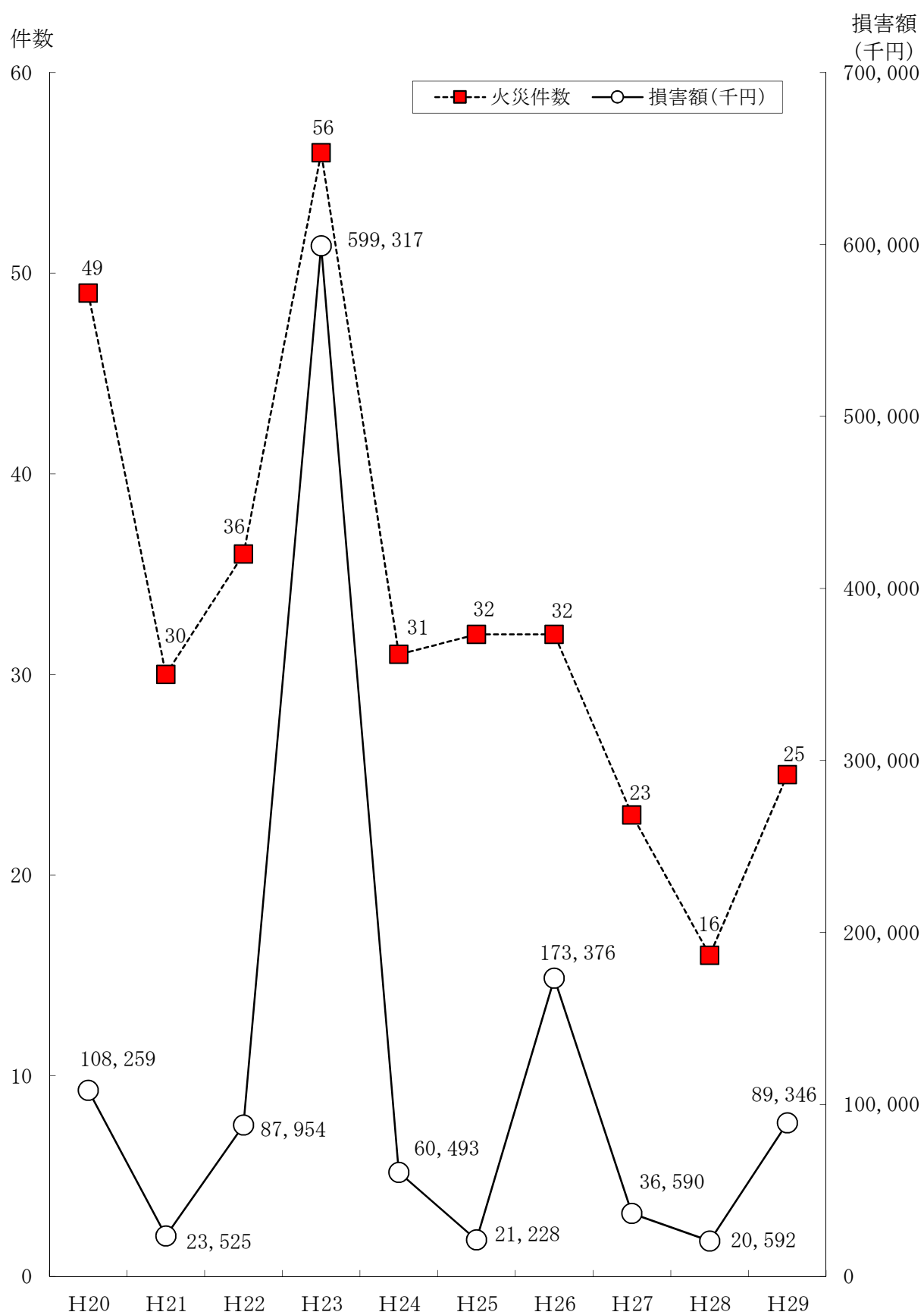
火災・救急・救助統計



平成29年度 全国統一防火標語
火の用心 ことばを形に 習慣に



火災件数及び損害額の推移

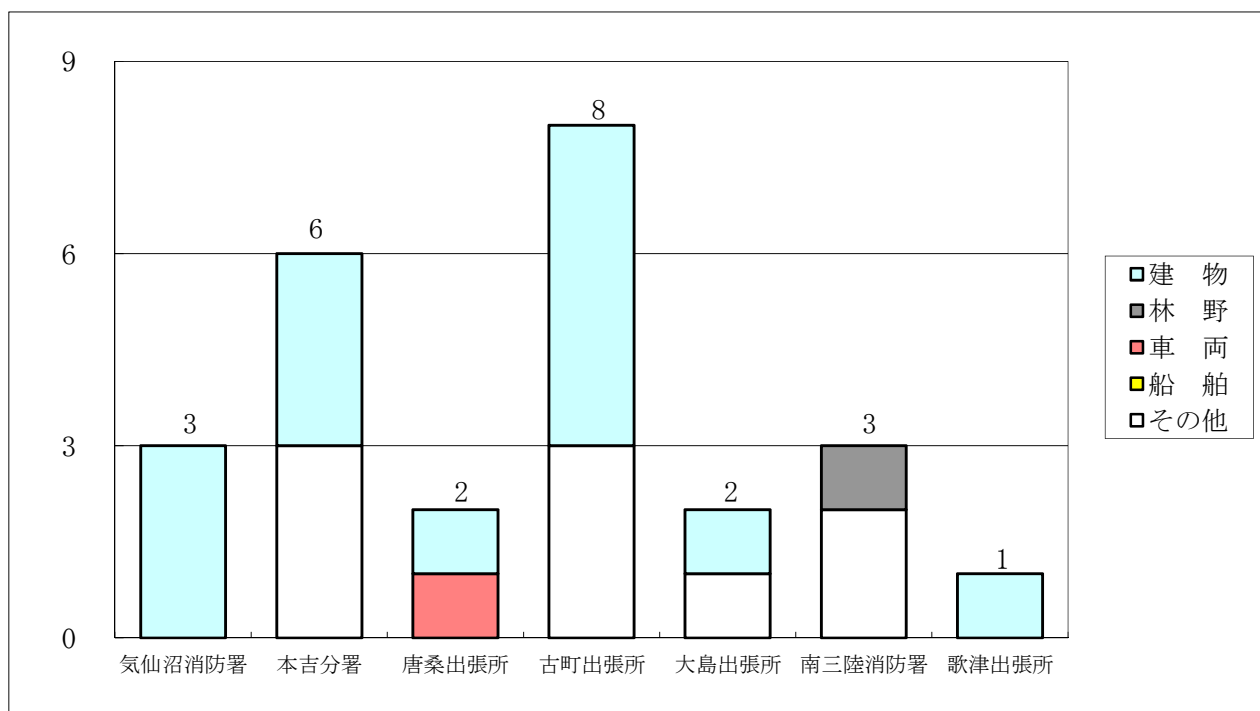


署 所 別 火 災 発 生 状 況

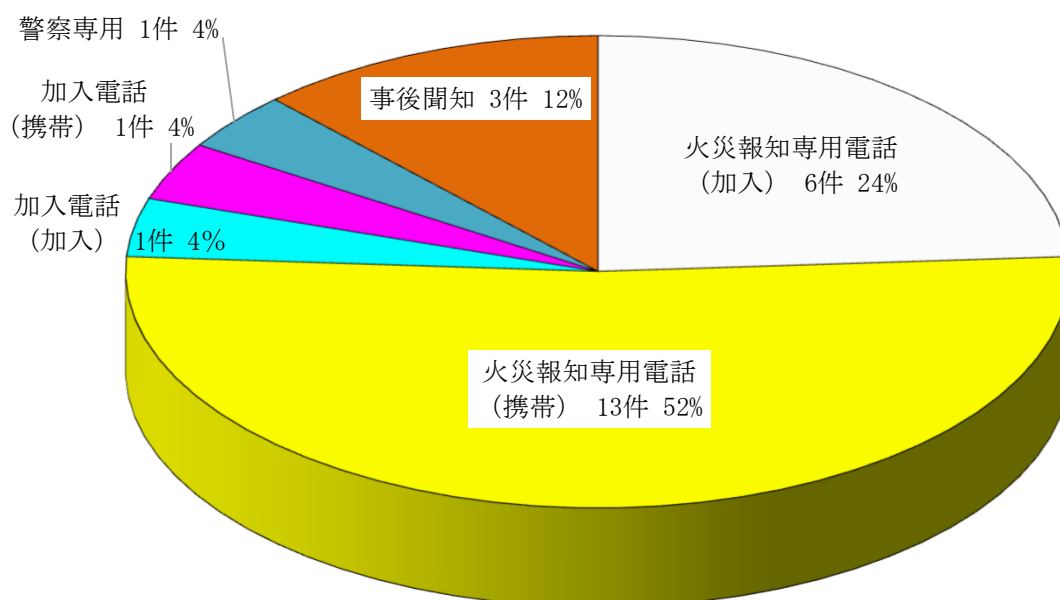
(平成29年)

署所別 区 分		気 仙 沼 消 防 署	本 吉 分 署	唐 桑 出 張 所	古 町 出 張 所	大 島 出 張 所	南 三 陸 消 防 署	歌 津 出 張 所	総 計
火 災 件 数	建 物	3	3	1	5	1		1	14
	林 野						1		1
	車 両			1					1
	船 舶								
	そ の 他		3		3	1	2		9
	合 計	3	6	2	8	2	3	1	25
り 災 棟 数	全 焼	2	1	1	10			3	17
	半 焼		1						1
	部 分 焼	1		1	7	1		1	11
	ぼ や	4	2		3			1	10
	合 計	7	4	2	20	1		5	39
建物焼損床面積(㎡)		299	143	83	734			659	1,918
内類焼									
建物焼損表面積(㎡)		50	5	5	292	3		3	358
内類焼									
林 野 焼 損 面 積 (a)							14	20	34
内類焼								20	20
り 災 世 帯 数		5	1	1	13	1		1	22
り 災 人 員		13	2	2	28	2		6	53
損 害 額 (千円)	建 物	21,639	17,284	6,648	27,722	861		11,655	85,809
	内類焼								
	林 野						233	470	703
	内類焼							470	470
	車 両		899	75					974
	内類焼		899						899
	船 舶								
	内類焼								
	そ の 他				960			900	1,860
	内類焼				60			900	960
合 計		21,639	18,183	6,723	28,682	861	233	13,025	89,346
内類焼			899		60			1,370	2,329
死 者					1				1
負 傷 者		3	1	1	1	1		1	8
放 水 火 災 件 数		2	4	1	5		2	1	15

火災件数



覚知別火災発生状況

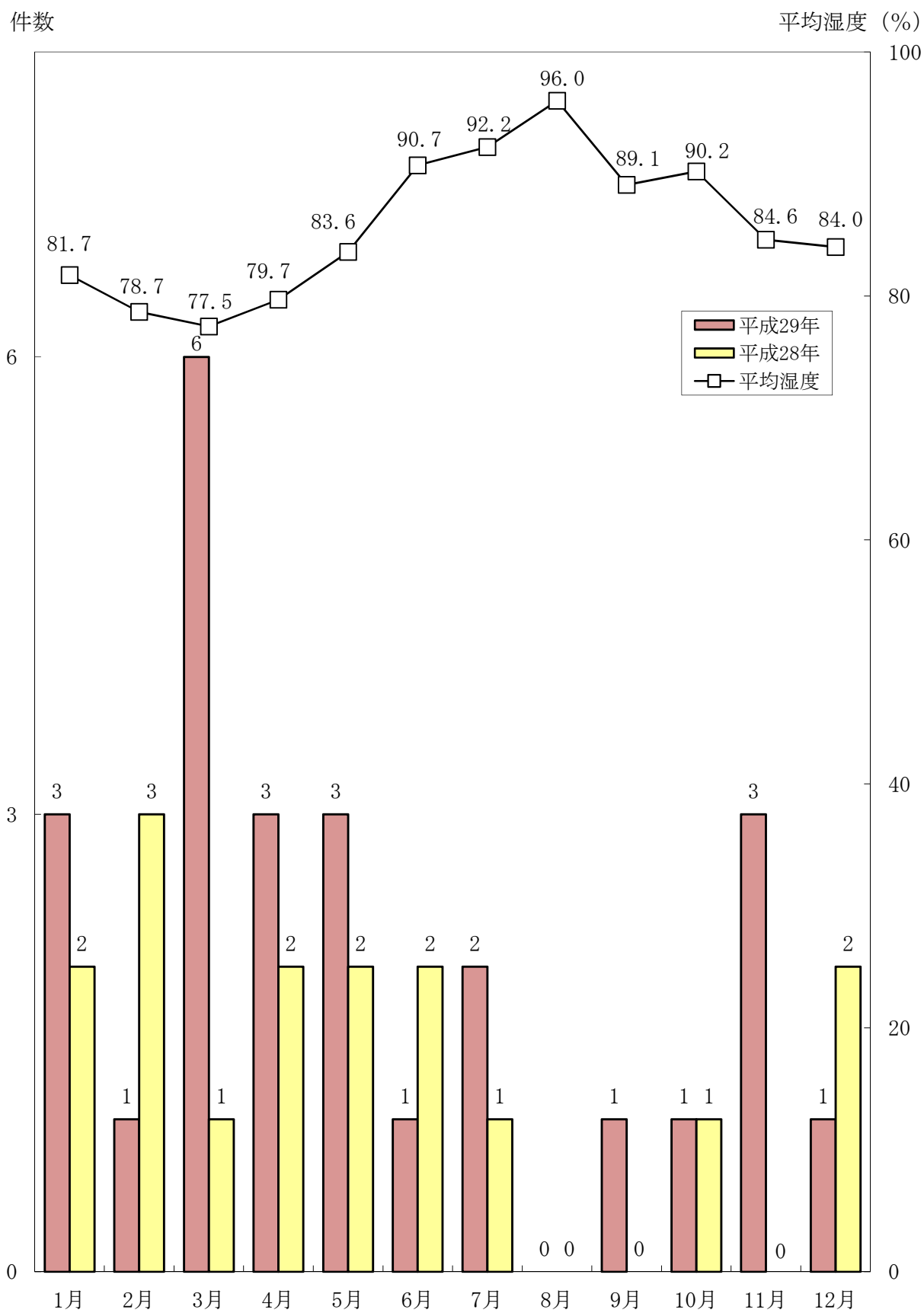


月別火災発生状況

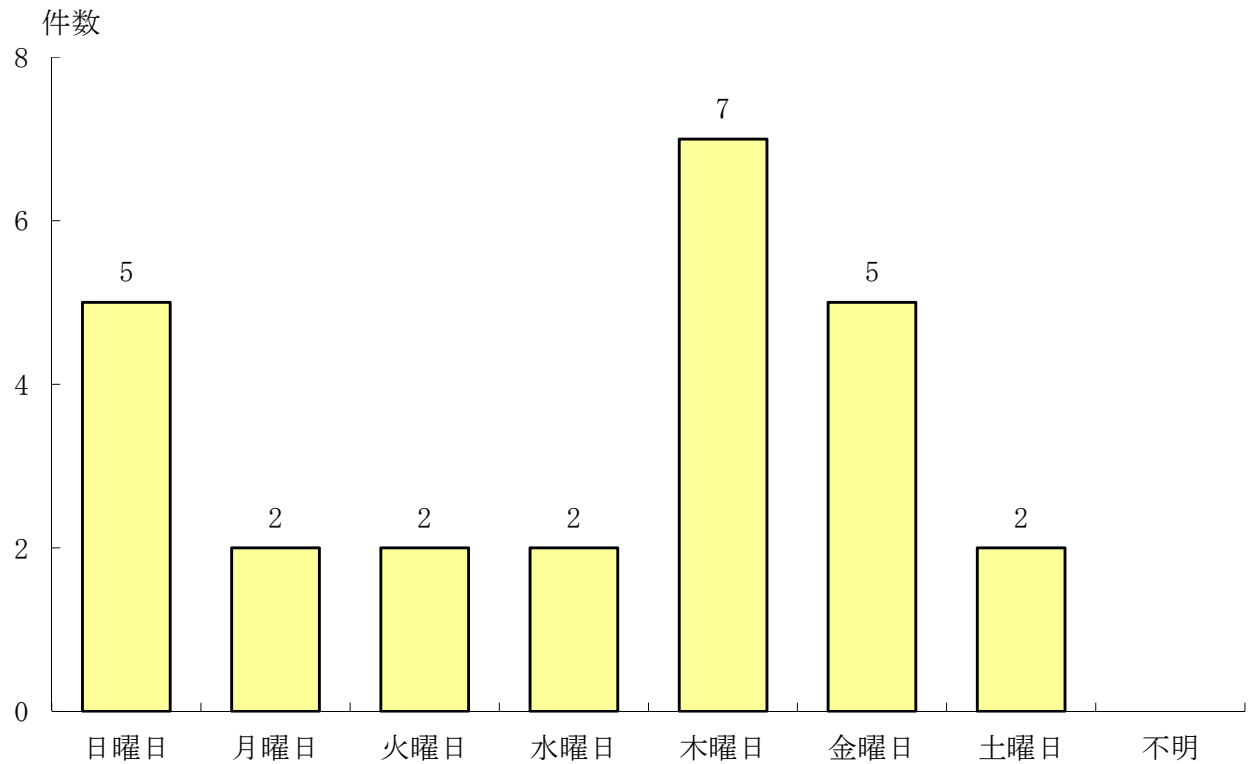
月 別 区 分			1 月		2 月		3 月		4 月		5 月		6 月			
火 災 件 数	建 物	全 焼	1	2	3		1	1	3	6		3	2	3		1
		半 焼														
		部 分 焼	1													
		ぼ や				1					2					
	林 野						1									
	車 両															
	船 舶															
	そ の 他		1				3		2		1		1			
り 災 棟 数	棟 数	全 焼	1	3	1		1	4		3	4	7				
		半 焼														
		部 分 焼	1										2			
		ぼ や	1			1			3				1			
	世 帯 数	全 損	1	2	1		2	3		3	1	2				
		半 損														
		小 損	1			1			1				1			
	建 物	焼損床面積(㎡)		215				102				742				
		内類焼														
焼損表面積(㎡)		3								8						
		内類焼														
林野焼損面積(a)									14		20					
											20					
損 害 額 (千円)	建 物	建 物	16,341				8,317				10,261					
			内類焼													
		内 容 物	4,690				797				8,042					
				内類焼												
	林 野							233		470						
			内類焼							470						
	車 両															
			内類焼													
	船 舶															
			内類焼													
	そ の 他											900		900		
			内類焼									900				
合 計		21,031				9,114		233		19,673		900				
										1,370						
死 者																
負 傷 者			3								2					
放 水 火 災 件 数			2				2		3		2		1			
放 水 ポ ン プ 台 数			6				9		11		33		2			
出 動 延 べ 人 員 (吏 員)			59				50		49		63		52			
出 動 延 べ 人 員 (団 員)			140				125		130		184		20			

7 月			8 月			9 月			10 月			11 月			12 月			合 計						
1	2	2						1			1	2	3	3	1	1	1	8	14	25				
																						2		
1																					4			
																								1
																								1
						1												9						
7	9											3	13		1	2		17		39				
																						1		
																					8			
2																		2						
																								9
2	3											2	10		1	1		9		22				
1																		8						
524												192			143			1, 918						
												342			5			358						
												34												
												20												
6, 476								11, 439		16, 491		69, 325												
1, 075								1, 174		706		16, 484												
												703												
												470												
						75				899		974												
										899		899												
60												1, 860												
60												960												
7, 611						75		12, 613		18, 096		89, 346												
60										899		2, 329												
								1				1												
1								1		1		8												
2								2		1		15												
13								14		8		96												
47				15		6		64		25		430												
144				22				161		76		1, 002												

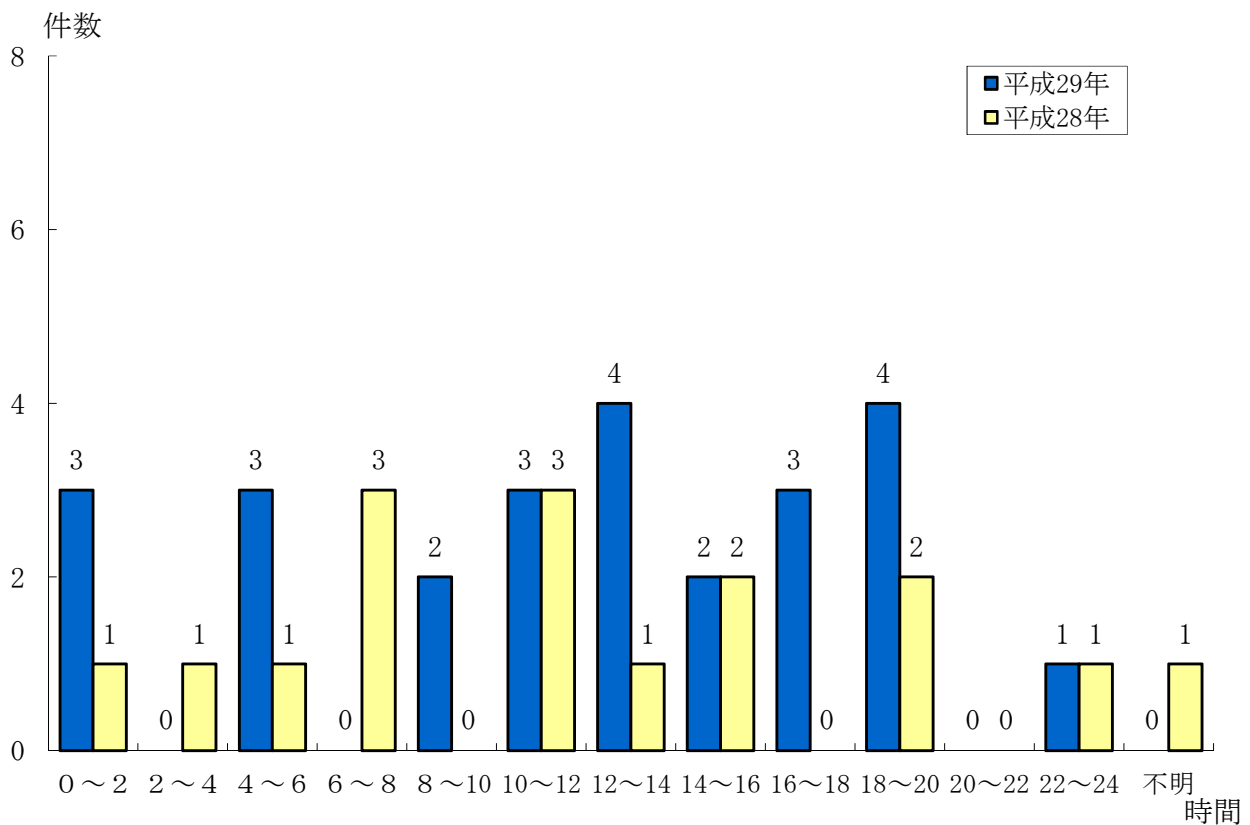
月別火災発生状況



曜日別火災発生状況



時間別火災発生状況



原因別火災発生状況・損害額

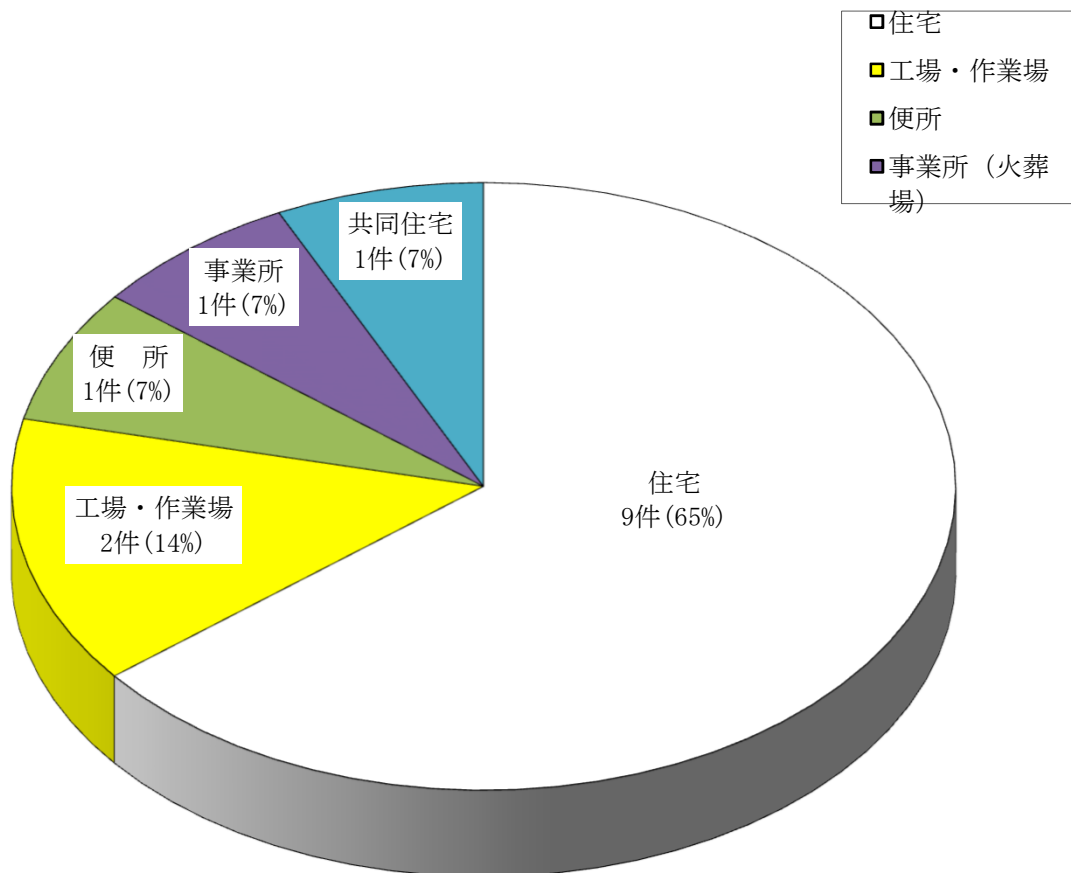
年 別 原因 件数・損害額		平成 29 年		平成 28 年	
		件数	損害額（千円）	件数	損害額（千円）
失火	たき火・ゴミ焼き （燃え広がり，不始末）	6	233		
	ストーブ（誤給油）	2	18,957		
	マッチ・ライター（捨て置く）	2	1,469	1	2,886
	線香（可燃物接触）	2	0		
	花火（可燃物接触）	1	6,648		
	電気配線（漏電，半断線）	1	98	2	40
	集塵機（清掃不良）	1	85		
	火葬炉（可燃物放置）	1	2		
	火花（可燃物接触，引火）			2	328
	乾燥機（考え違い）			1	8,929
	車両（可燃物接触）			1	122
	電熱線（スパーク）			1	24
	衝突火花（引火）			1	30
	たばこ（捨て置く）			1	0
放火・放火の疑い		2	76	3	1,191
調 査 中		7	61,778	3	7,042
合 計		25	89,346	16	20,592

建物用途別火災発生状況（火元）

（平成29年）

用途別 区 分	出 火 件 数					焼損面積（㎡）		損 害 額 （千円）
	合 計	全 焼	半 焼	部分焼	ぼ や	床面積	表面積	
住 宅	9	6		2	1	735	3	67,417
工 場 ・ 作 業 場	2	1			1	659		13,110
便 所	1	1				524		7,609
事業所（火葬場）	1				1			2
共 同 住 宅	1				1			
合 計	14	8	0	2	4	1,918	3	88,138

※件数及び用途別については火元用途による。



平成29年の救急概況

平成29年における救急の概況は、前年と比較して出動件数及び搬送人員とも増加した。

管内では1日平均約9.7件の割合で救急隊が出動し、管内人口74,801人のうち約25人に1人が救急隊によって搬送されたことになる。

(1) 出動件数と搬送人員

出動件数は3,522件、搬送人員は3,007人である。これを前年と比較すると出動件数は208件、搬送人員は114人の増となった。

(2) 署所別出動及び搬送状況

署所別出動件数及び搬送人員では、気仙沼消防署が1,025件・917人で、最も出動件数が多く、出動件数全体の29.1%を占めている。次いで、古町出張所 981件・885人、本吉分署 411件・388人、南三陸消防署 380件・357人、唐桑出張所 270件・230人、大島出張所 236件・28人、歌津出張所 219件・202人の順となっている。

(3) 事故種別出動及び搬送状況

事故種別では、出動件数及び搬送人員の最も多いのは、急病の2,330件・1,941人で出動件数全体の66.2%となっており、次いで一般負傷 452件・379人、その他（転院搬送等）389件・351人、交通事故 216件・219人となっている。この4種で出動件数全体の96.2%、搬送人員は96.1%を占めている。

(4) 月別、時間別出動及び曜日別搬送状況

月別出動件数では、12月が335件で最も多く、次いで11月 314件、1月 306件の順となっている。

時間別出動件数は、8時～10時が470件と最も多く、次いで10時～12時 429件、12時～14時 418件となっている。

曜日別搬送状況は、月曜日が452人で最も多く、次いで火曜日 434人、日曜日 433人で、最も少ないのが土曜日の410人となっている。

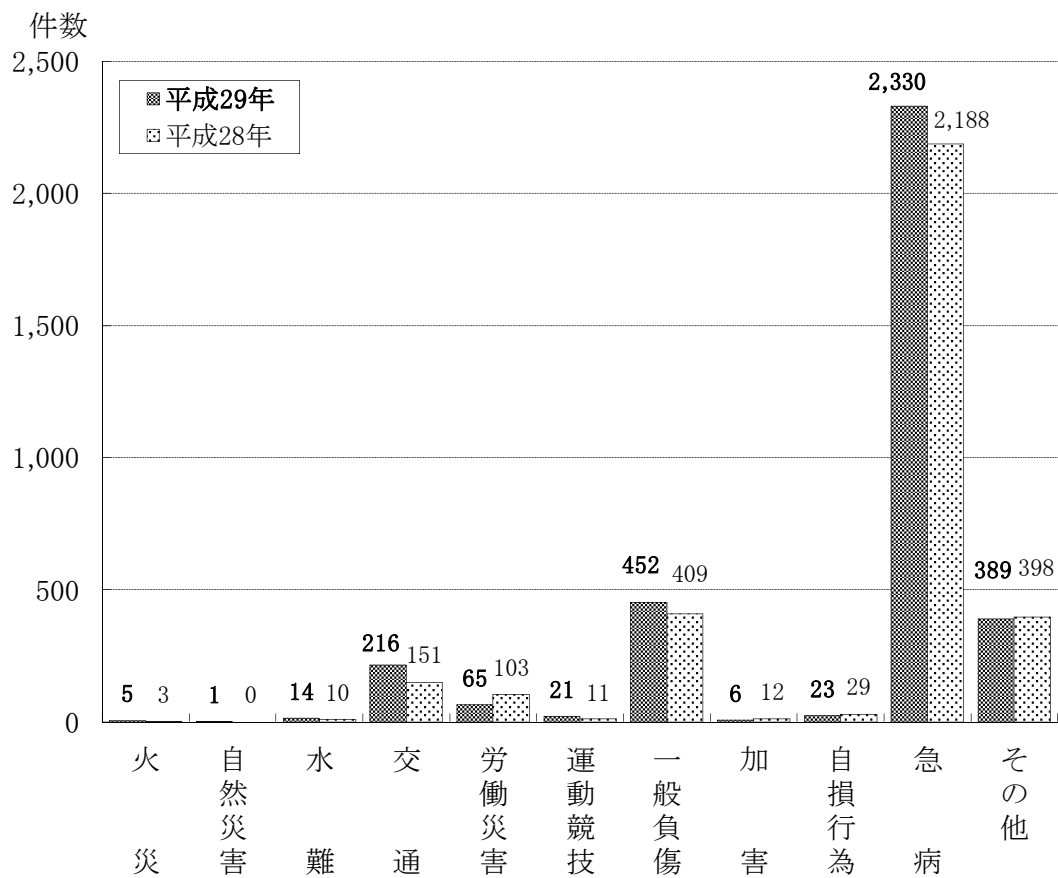
(5) 年齢別、傷病程度別搬送状況

年齢別搬送人員をみると、65歳以上の高齢者が2,060人（68.5%）と全体に占める割合が高く、この中で急病搬送が69.4%を占めている。

傷病程度別搬送状況をみると、中等症が1,344人（44.7%）で全体に占める割合が最も高く、次いで軽症 1,129人（37.5%）となっている。

事 故 種 別 救 急 活 動 状 況

事故種別 区 分		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計
29 年	出動件数	5	1	14	216	65	21	452	6	23	2,330	389	3,522
	搬送人員	5		12	219	61	19	379	5	15	1,941	351	3,007
28 年	出動件数	3		10	151	103	11	409	12	29	2,188	398	3,314
	搬送人員	1		5	154	98	8	347	9	17	1,899	355	2,893



署 所 別 事 故 別 活 動 状 況

署所別 \ 事故種別			火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
気 仙 沼	29年	出動件数	2		1	68	15	10	121	4	12	681	111	1,025
		搬送人員	2		2	75	15	9	107	3	9	585	110	917
	28年	出動件数	2		1	53	24	4	136	5	8	623	81	937
		搬送人員			1	54	23	3	118	5	7	554	81	846
古 町	29年	出動件数	1	1	2	59	18	2	136		5	671	86	981
		搬送人員	2			57	17	2	126		3	593	85	885
	28年	出動件数			2	38	39	4	108	3	5	640	104	943
		搬送人員			1	37	38	3	102	3	2	583	103	872
大 島	29年	出動件数				7	3	2	38			153	33	236
		搬送人員				3	1	1	5			17	1	28
	28年	出動件数			2	2	3	1	22			131	41	202
		搬送人員										20		20
唐 桑	29年	出動件数	2		5	15	5		41	1	2	188	11	270
		搬送人員	1		5	14	4		38	1	2	157	8	230
	28年	出動件数			2	9	9		39	1	8	188	4	260
		搬送人員			1	9	9		28		3	168	4	222
本 吉	29年	出動件数			1	32	4	3	46		3	257	65	411
		搬送人員				38	4	3	43		1	235	64	388
	28年	出動件数			1	24	4		41	2	4	255	53	384
		搬送人員			1	28	4		38	1	2	242	52	368
南 三 陸	29年	出動件数			3	19	15	3	48	1		222	69	380
		搬送人員			3	17	15	3	41	1		208	69	357
	28年	出動件数			1	16	14	1	47	1	2	222	101	405
		搬送人員			1	16	14	1	45		2	215	101	395
歌 津	29年	出動件数			2	16	5	1	22		1	158	14	219
		搬送人員			2	15	5	1	19			146	14	202
	28年	出動件数	1		1	9	10	1	16		2	129	14	183
		搬送人員	1			10	10	1	16		1	117	14	170
合 計	29年	出動件数	5	1	14	216	65	21	452	6	23	2,330	389	3,522
		搬送人員	5		12	219	61	19	379	5	15	1,941	351	3,007
	28年	出動件数	3		10	151	103	11	409	12	29	2,188	398	3,314
		搬送人員	1		5	154	98	8	347	9	17	1,899	355	2,893

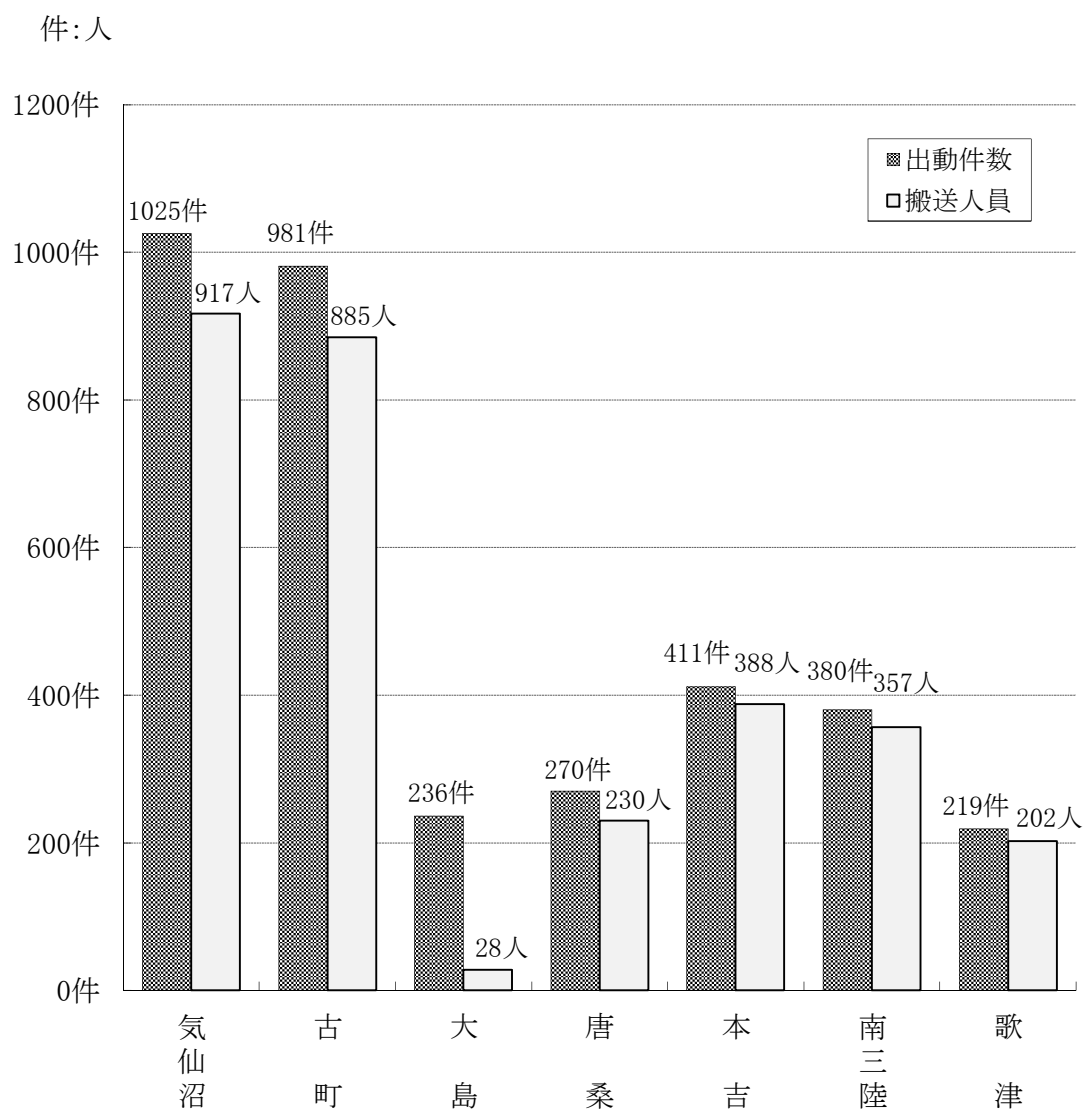
※大島の搬送人員は、島内の診療所等へ搬送した件数のみを計上し、本土の救急隊への引き継ぎは計上せず。（総務省消防庁 救急事故等報告要領による）

署 所 別 救 急 活 動 状 況

出動件数 3, 522件, 搬送人員 3, 007人に占める各署所の割合は,

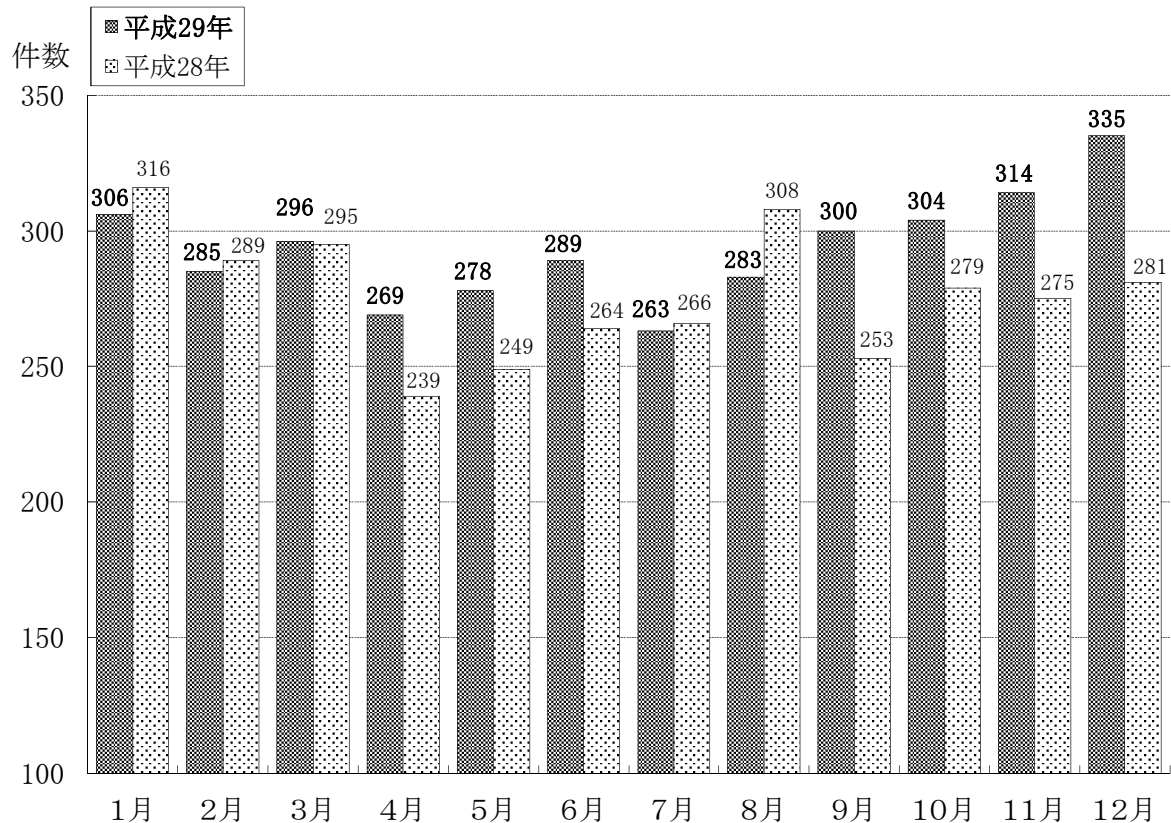
気 仙 沼	1, 025件	29.1%	917人	30.5%
古 町	981件	27.8%	885人	29.4%
大 島	236件	6.7%	28人	0.9%
唐 桑	270件	7.7%	230人	7.7%
本 吉	411件	11.7%	388人	12.9%
南 三 陸	380件	10.8%	357人	11.9%
歌 津	219件	6.2%	202人	6.7%

となっている。



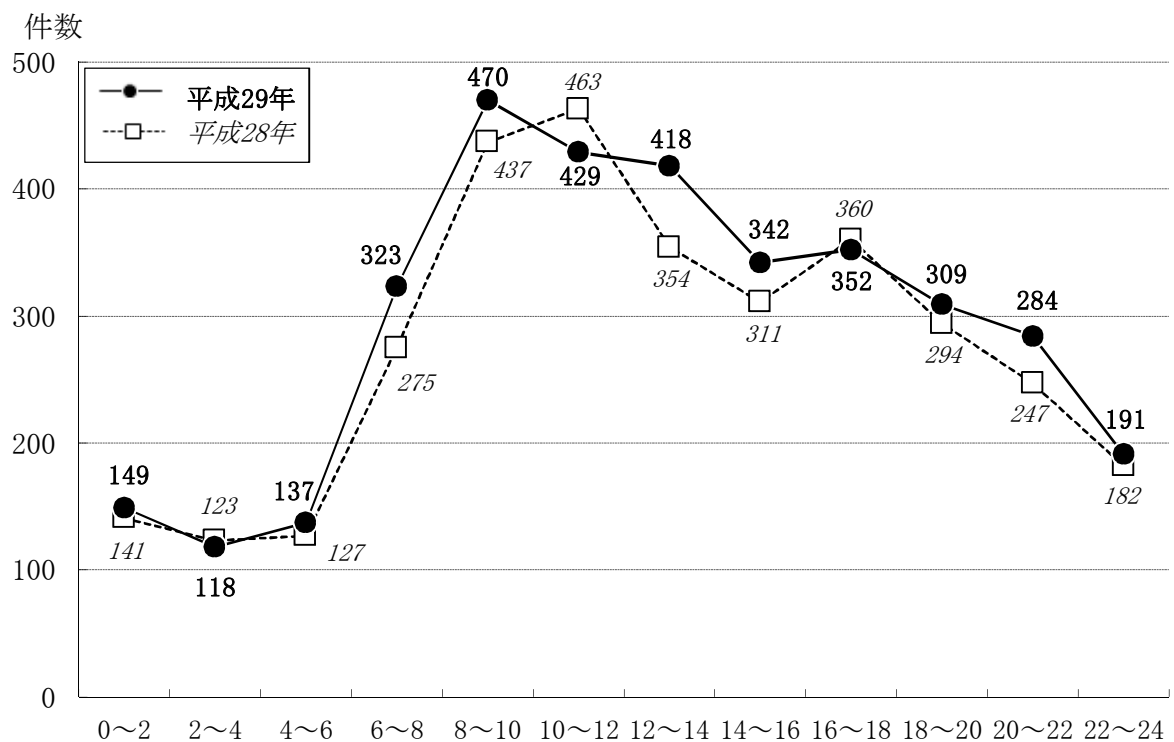
月 別 出 動 件 数

事故種別 月 別	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
1 月	2		1	17	4	1	36		1	223	21	306
2 月				13	1		39		6	196	30	285
3 月			4	19	14		28	1	2	189	39	296
4 月			1	19	4	1	39		1	182	22	269
5 月	1		1	18	1	1	40			194	22	278
6 月				25	4	3	38			180	39	289
7 月			3	22	8	3	37	2	2	158	28	263
8 月			1	12	6	1	43		5	174	41	283
9 月		1		21	5	3	39		1	192	38	300
10 月			1	18	4	4	36	2	2	192	45	304
11 月	1			13	8	1	46		3	203	39	314
12 月	1		2	19	6	3	31	1		247	25	335
合計	5	1	14	216	65	21	452	6	23	2,330	389	3,522



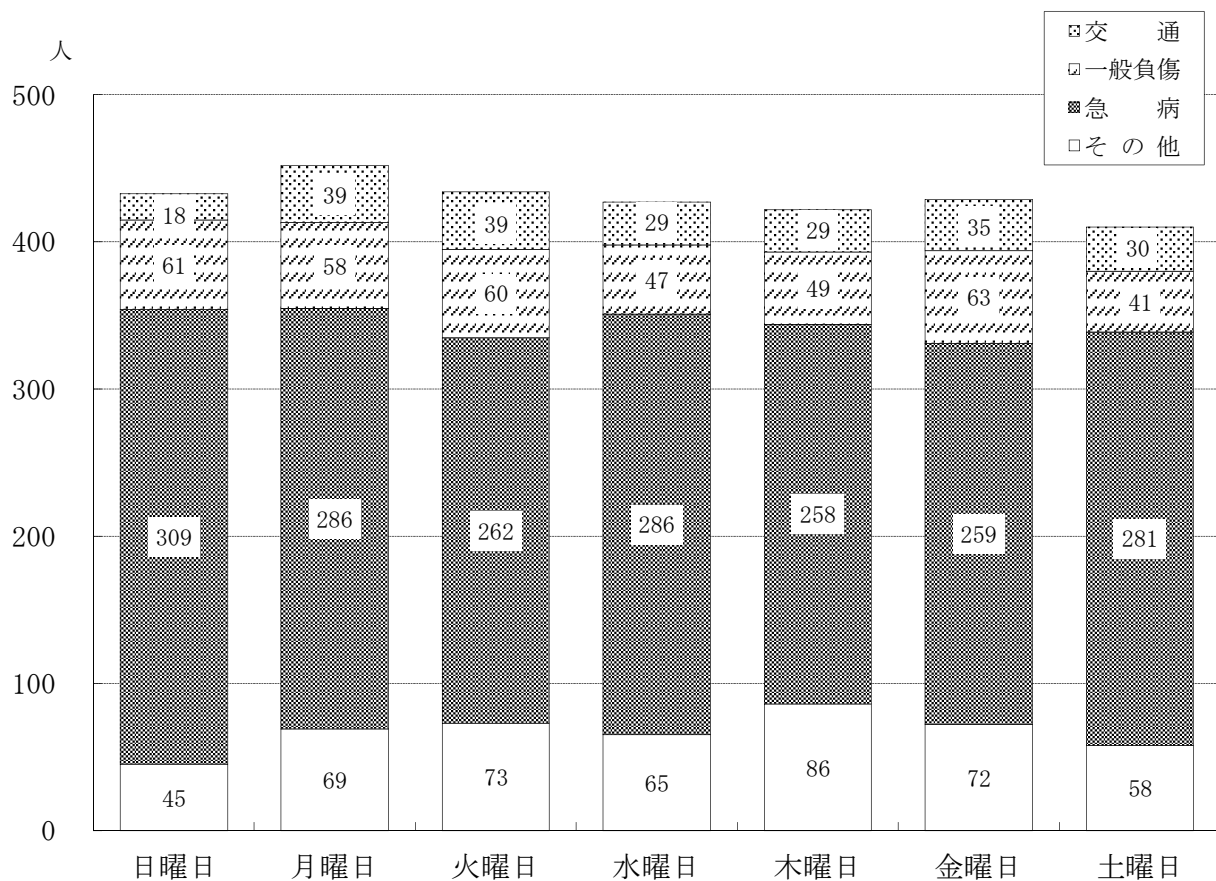
時 間 別 出 動 件 数

事故種別 時間別	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
0～2	2	1		3			13		2	121	7	149
2～4				4			11		2	101		118
4～6			2	4	1		18			111	1	137
6～8	1		1	28	2		40	1	5	236	9	323
8～10			1	21	12		69	1	2	302	62	470
10～12			2	31	12	7	59	1	1	232	84	429
12～14			1	30	14	6	47	1	1	239	79	418
14～16			2	36	12	4	38		2	194	54	342
16～18	1		2	21	8	3	55		3	212	47	352
18～20				25	1	1	33		2	221	26	309
20～22	1		2	9	3		35	1	2	216	15	284
22～24			1	4			34	1	1	145	5	191
合計	5	1	14	216	65	21	452	6	23	2,330	389	3,522



曜 日 別 搬 送 人 員

事故種別 \ 曜 日	日	月	火	水	木	金	土	計
火 災					2	3		5
自 然 災 害								
水 難	3	2		5	2			12
交 通	18	39	39	29	29	35	30	219
労 働 災 害	3	9	8	5	16	9	11	61
運 動 競 技	4	2		1	1	4	7	19
一 般 負 傷	61	58	60	47	49	63	41	379
加 害	1	1	2				1	5
自 損 行 為	1	3	2	1	4	1	3	15
急 病	309	286	262	286	258	259	281	1,941
そ の 他	33	52	61	53	61	55	36	351
合 計	433	452	434	427	422	429	410	3,007



年 齢 区 分 ・ 傷 病 程 度 別 搬 送 人 員

事故種別 区 分		火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
新 生 児	死 亡												
	重 症												
	中等症										1	1	2
	軽 症												
	その他												
	計										1	1	2
乳 幼 児	死 亡												
	重 症			1									1
	中等症				1			3			5	3	12
	軽 症				6			9			26		41
	その他												
	計			1	7			12			31	3	54
少 年	死 亡												
	重 症										1	2	3
	中等症			1	2		2				6	2	13
	軽 症				6		13	8			24	1	52
	その他												
	計			1	8		15	8			31	5	68
成 人	死 亡			1	1			1		2	4		9
	重 症			1	3	9		5		2	45	22	87
	中等症	3		1	37	25	2	24	1	3	182	67	345
	軽 症			1	83	18	1	42	2	8	217	8	380
	その他						1					1	2
	計	3		4	124	52	4	72	3	15	448	98	823
高 齢 者	死 亡			3	1	1		6			79	1	91
	重 症				5			36			227	69	337
	中等症	2		1	29	6		123			664	147	972
	軽 症			2	45	2		122	2		460	23	656
	その他											4	4
	計	2		6	80	9		287	2		1,430	244	2,060
合 計	死 亡			4	2	1		7		2	83	1	100
	重 症			2	8	9		41		2	273	93	428
	中等症	5		3	69	31	4	150	1	3	858	220	1,344
	軽 症			3	140	20	14	181	4	8	727	32	1,129
	その他						1					5	6
	計	5		12	219	61	19	379	5	15	1,941	351	3,007

※ 傷病程度の区分で「その他」とは、医師の診断のないもの及びその他の場所へ搬送したものをいう。

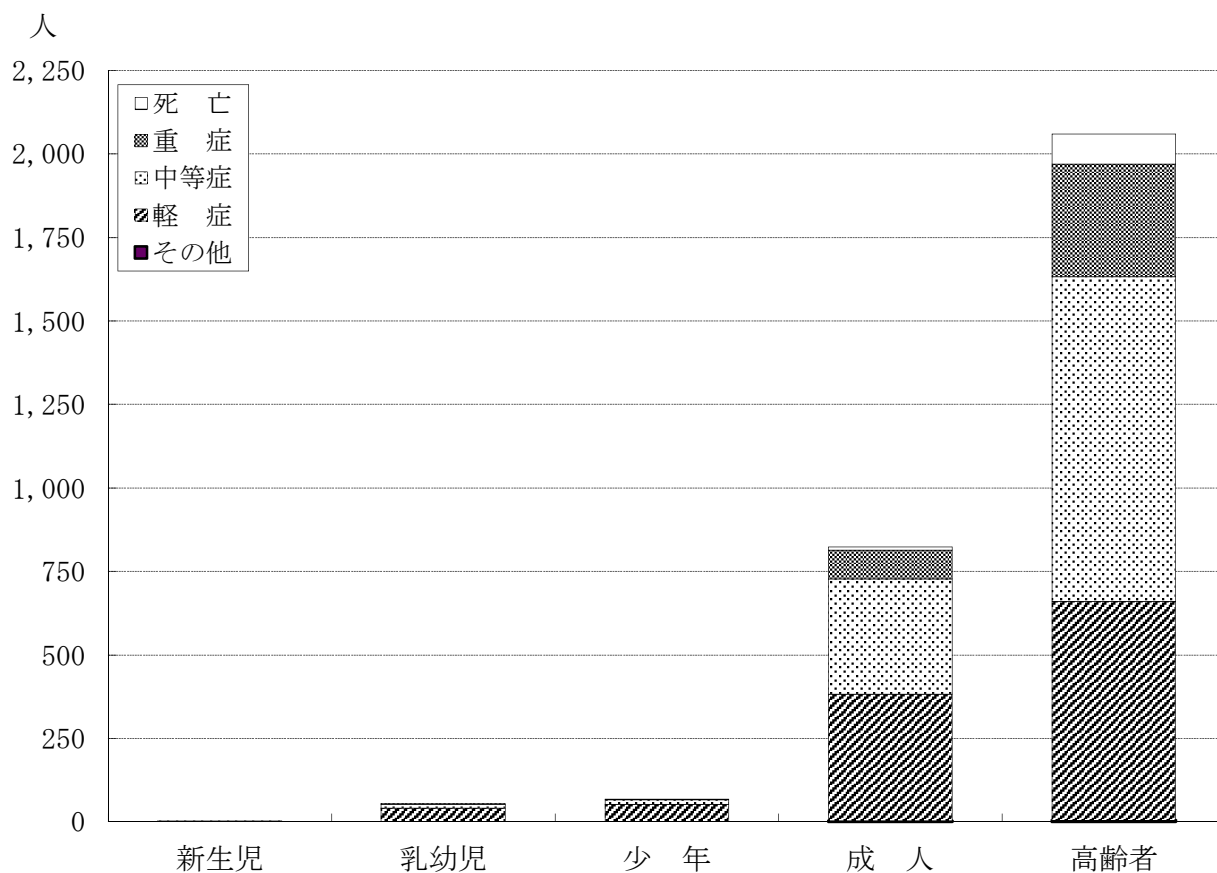
年 齢 区 分 別 搬 送 人 員

搬送人員 3, 0 0 7 人のうち

・ 新生児	[生後 2 8 日未満]	2 人	0 . 1 %
・ 乳幼児	[生後 2 8 日～ 7 歳未満]	5 4 人	1 . 8 %
・ 少 年	[7 歳～ 1 8 歳未満]	6 8 人	2 . 2 %
・ 成 人	[1 8 歳～ 6 5 歳未満]	8 2 3 人	2 7 . 4 %
・ 高齢者	[6 5 歳以上]	2 , 0 6 0 人	6 8 . 5 %

をそれぞれ搬送した。

年齢区分ごとの傷病程度は下記グラフのとおりとなっている。



医療機関別搬送人員

告示別	事故種別		急病		交通		一般負傷		その他		計	
	開設者別			うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外
救急告示医療機関	国立		4	4			1	1	50	50	55	55
	公立		1,571	19	142	4	291	6	283	10	2,287	39
	公的		65	65	5	5	8	8	94	94	172	172
	私 的	病院	44	11	50		44		23	13	161	24
		診療所										
計			1,684	99	197	9	344	15	450	167	2,675	290
その他の医療機関	国立											
	公立		93		11		17		5	2	126	2
	公的											
	私 的	病院	106	1			5		2		113	1
		診療所	58	2	11		13		5	1	87	3
計			257	3	22		35		12	3	326	6
計	国立		4	4			1	1	50	50	55	55
	公立		1,664	19	153	4	308	6	288	12	2,413	41
	公的		65	65	5	5	8	8	94	94	172	172
	私 的	病院	150	12	50		49		25	13	274	25
		診療所	58	2	11		13		5	1	87	3
計			1,941	102	219	9	379	15	462	170	3,001	296
その他の場所	接骨院他											
	その他								6	5	6	5
	計								6	5	6	5
合計			1,941	102	219	9	379	15	468	175	3,007	301

その他の救急活動状況

覚知別出動状況

覚 知 別	出動件数
計	3,522
1 1 9 番	3,090
警 察 電 話	20
加 入 電 話	330
駆 け 付 け	59
そ の 他	23

不搬送理由

不 搬 送 理 由	出動件数
計	542
緊急性なし	133
傷病者なし	4
拒 否	46
酩 酊	13
死 亡	61
現 場 処 置	199
誤 報 ・ いたずら	4
そ の 他	82

診療科目別搬送状況

診 療 科 目 別	搬送人員
計	3,007
外 科	133
内 科	1,205
脳 神 経 外 科	452
循 環 器 科	266
呼 吸 器 科	110
消 化 器 科	63
整 形 外 科	566
小 児 科	52
泌 尿 器 科	49
産 婦 人 科	27
精 神 神 経 科	13
耳 鼻 咽 喉 科	43
眼 科	3
皮 膚 科	5
救命センター	4
そ の 他 の 科	10
その他の場所	6

その他の統計

種 別	出動件数
転 院 搬 送	386
転 送	28
医 師 ・ 資 機 材 搬 送	0
ドクターヘリ 連 携	35
現場救急	5
転院搬送	30

※ 転院搬送：医療機関からの要請に応じて当該医療機関の管理下にある傷病者を他の医療機関へ搬送すること。

※ 転 送：医療機関に搬送し医師に引き継いだものの、当該医療機関の事情等により他の医療機関に同一の救急隊が搬送すること。

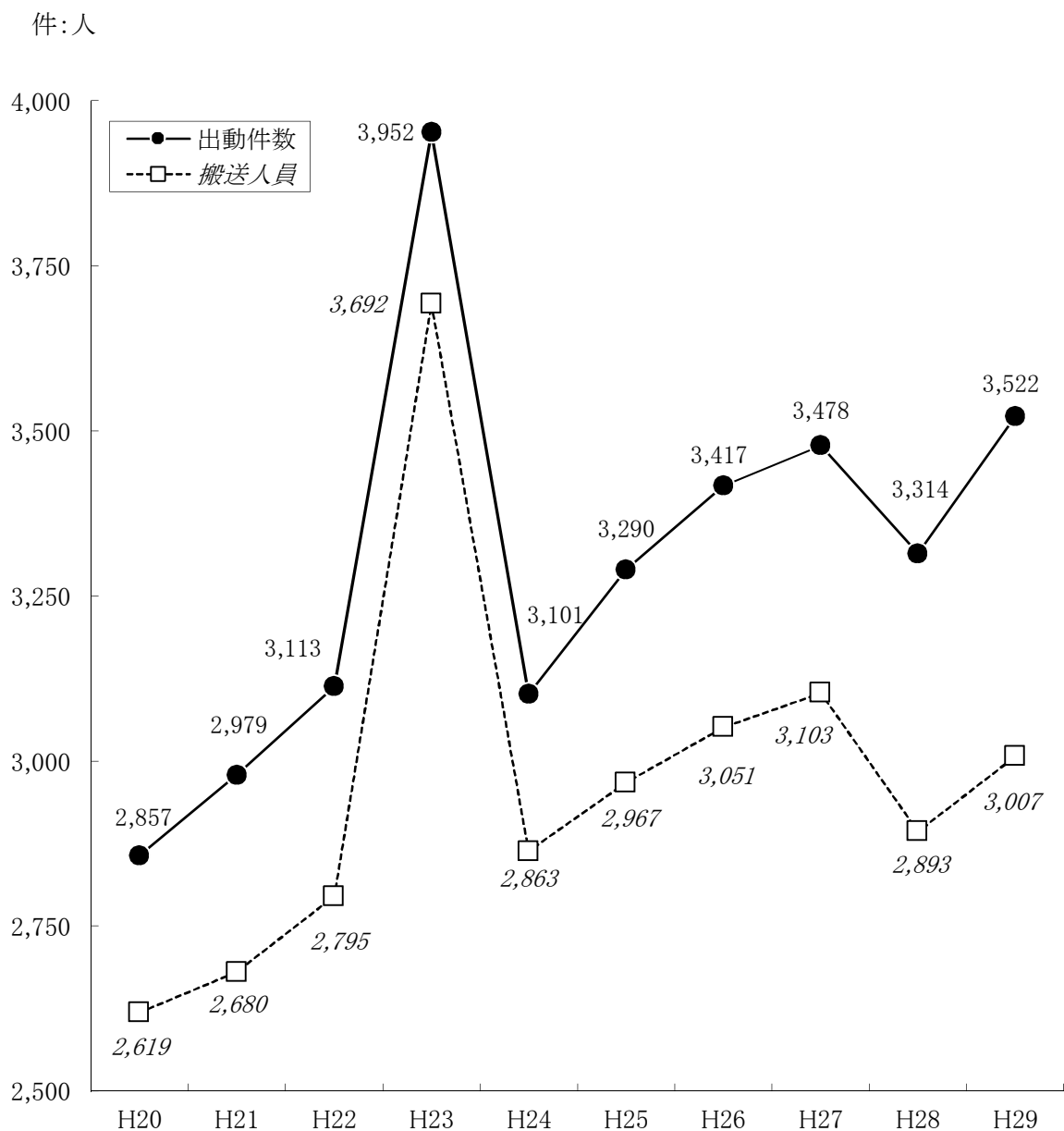
※ ドクターヘリ：平成28年10月28日より運航開始。通報時又は、救急現場から要請したものを「現場救急」、医療機関からの要請による病院間搬送を「転院搬送」という。

過去10年間の救急活動の推移

平成29年の救急活動は、平成20年を基準とした場合、出動件数・搬送人員とも増加している。

過去10年間は出動件数・搬送人員ともに増加傾向だったが、平成23年は東日本大震災により出動件数・搬送人員とも大幅に増加した。

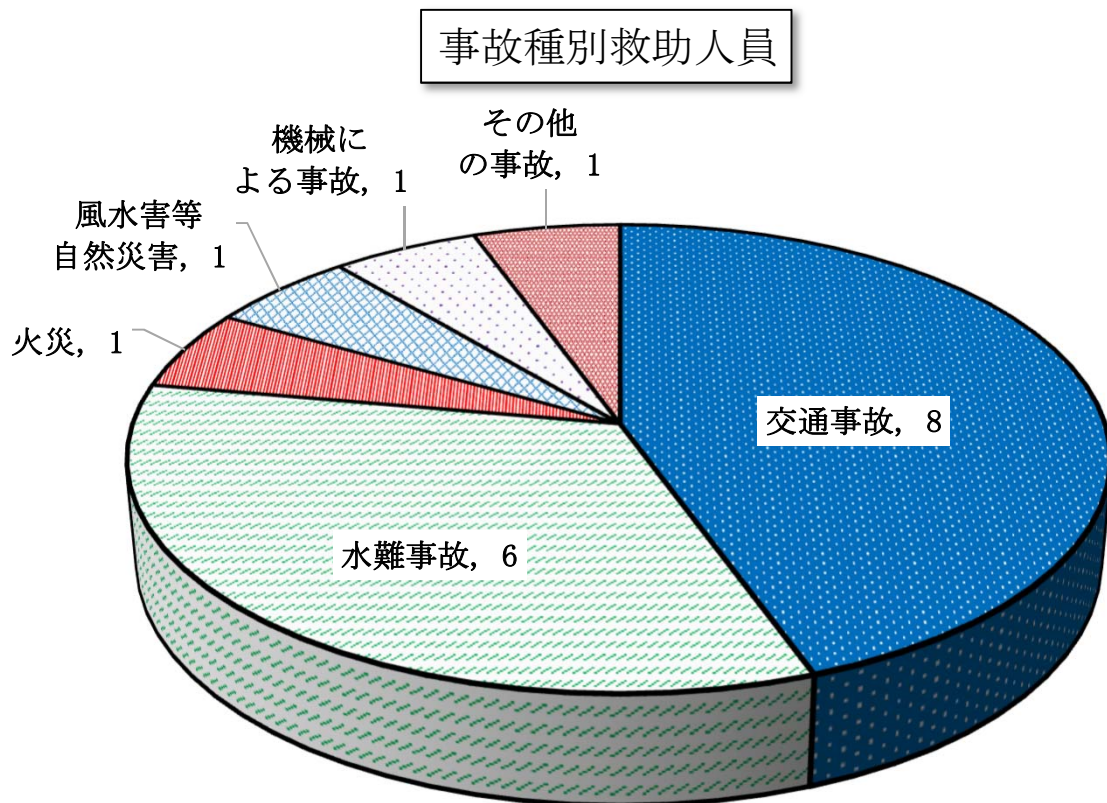
平成25年以降も増加傾向だったが、平成28年に出動件数・搬送人員とも減少した。



事 故 種 別 救 助 活 動 状 況

事故種別 件数区分		火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風自 水然 害災 等害	機よ る 械 事 に故	建よ 物る 等事 に故	ガ酸 ス欠 及事 び故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	計
		建 物	建 物 以 外									
平成 29 年	出 動 件 数	1		23	8	1	2				2	37
	活 動 件 数	1		7	6	1	1				1	17
	救 助 人 員	1		8	6	1	1				1	18
平成 28 年	出 動 件 数			12	9			3			3	27
	活 動 件 数			3	6			3			3	15
	救 助 人 員			3	6			3			3	15

※ 水難事故 8 件のうち 6 件に、「水難救助隊」が出動し、活動している。

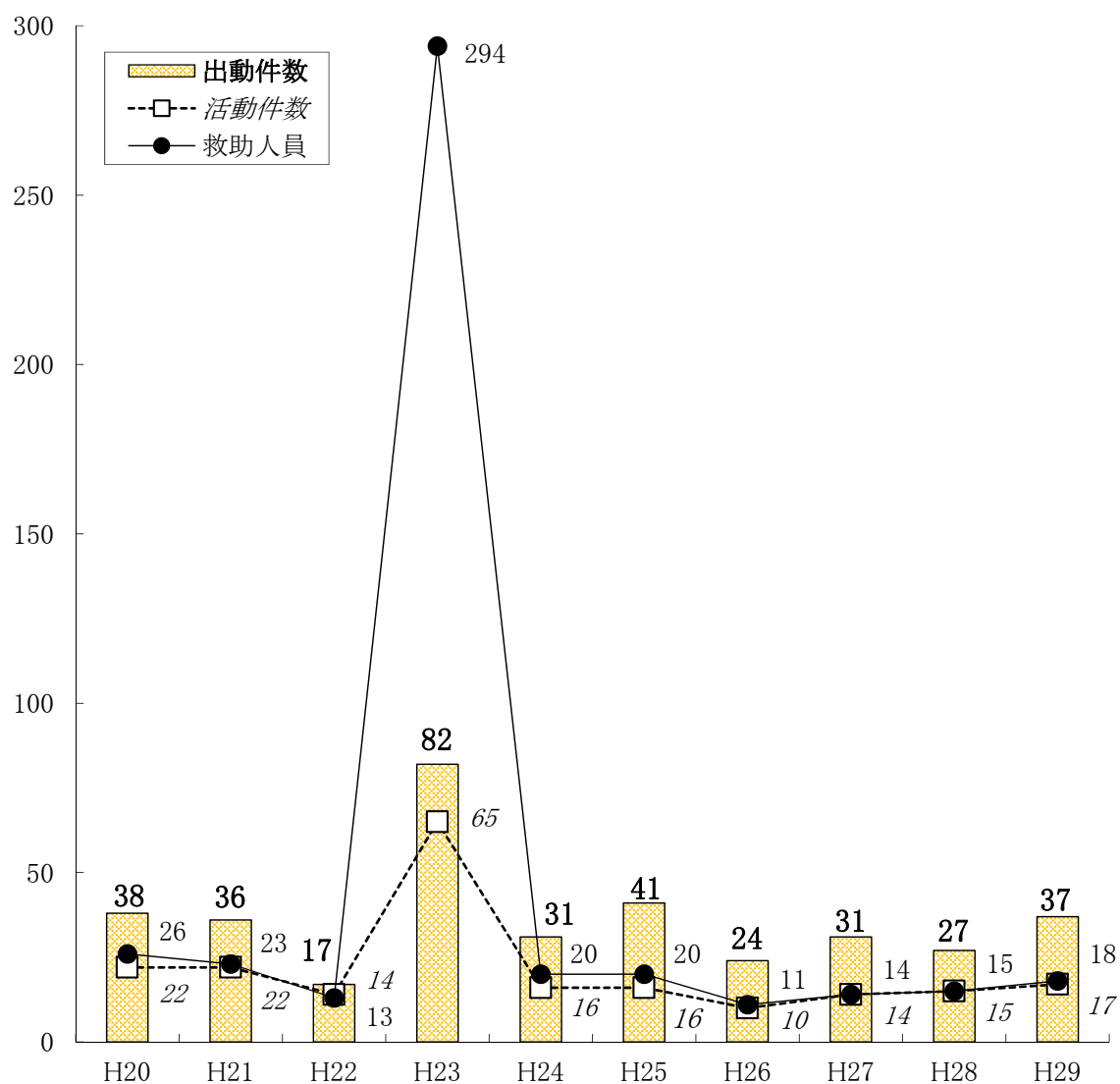


過去10年間の救助活動の推移

過去10年間は、若干の増減を繰り返しながら推移しているが、平成23年は東日本大震災により出動件数・活動件数・救助人員とも大幅に増加した。

平成29年の救助活動は、平成23年を除いた過去の件数と比較すると、出動件数・活動件数ともほぼ横ばいの件数となっている。

件:人



防災センター



かなえちゃん

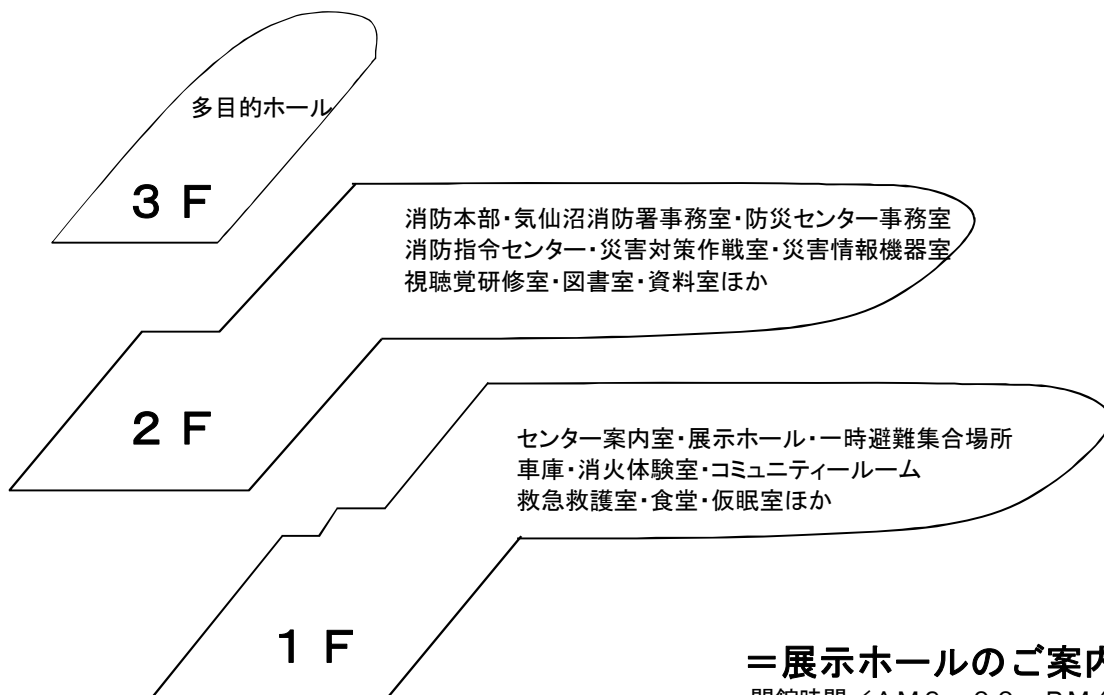
みなみちゃん

防災センターの概要

「気仙沼・本吉広域防災センター」は、消防本部・消防署との合築の施設で国土庁と宮城県の補助を受け、平成6年4月1日にオープンしました。

平常時は、地震・煙・消火等の体験学習や各種展示を通じて防災行動力・防災知識等の向上を図ります。

また、災害時には、災害対策活動の拠点として1市1町や関係機関等への情報提供や連絡調整等を行う一方、一次避難場所等としても利用されます。



その他、敷地内には災害時に備えたヘリポートや備蓄倉庫、訓練塔があります。

＝展示ホールのご案内＝

開館時間／AM9：00～PM4：00

休館日／月曜日・年末年始(12/28～1/7)



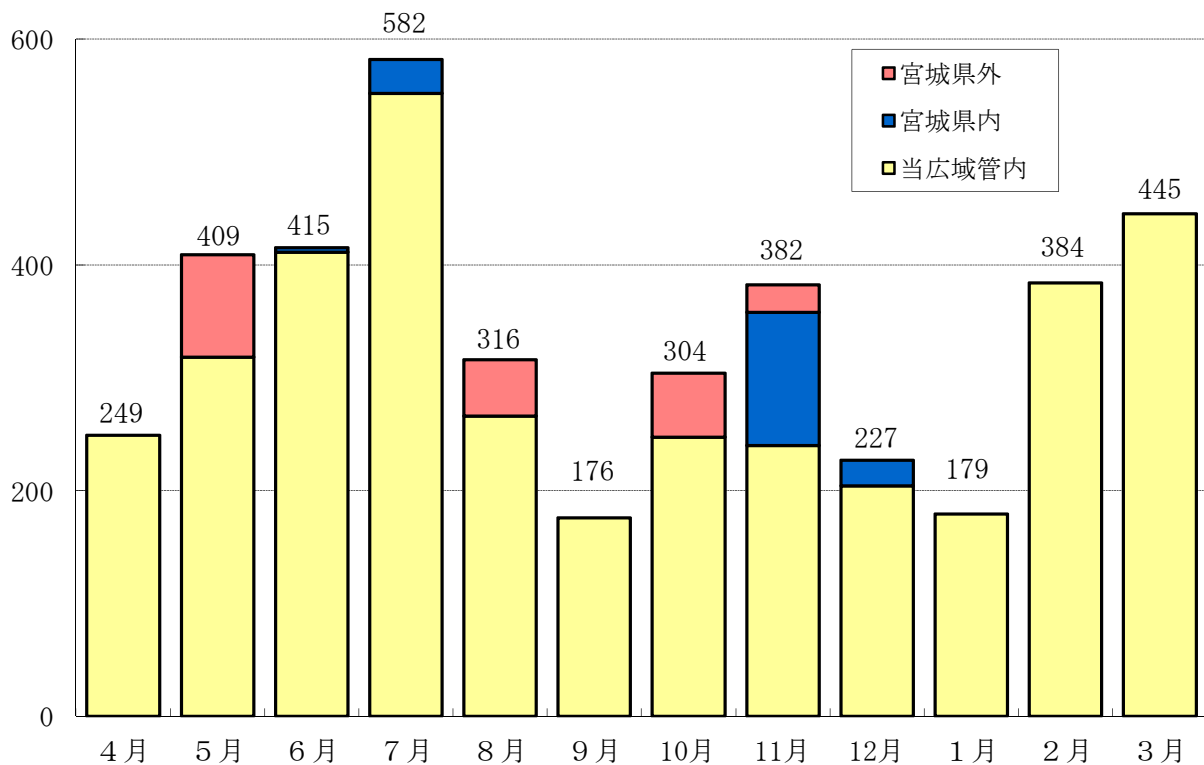
■センター概要

- 敷地面積／5,225.02㎡ 延べ床面積／2,981.4㎡
(他に、備蓄倉庫／299.95㎡, 訓練塔／299.75㎡)

月 別 ・ 地 域 別 利 用 状 況

(平成29年度) (単位：人)

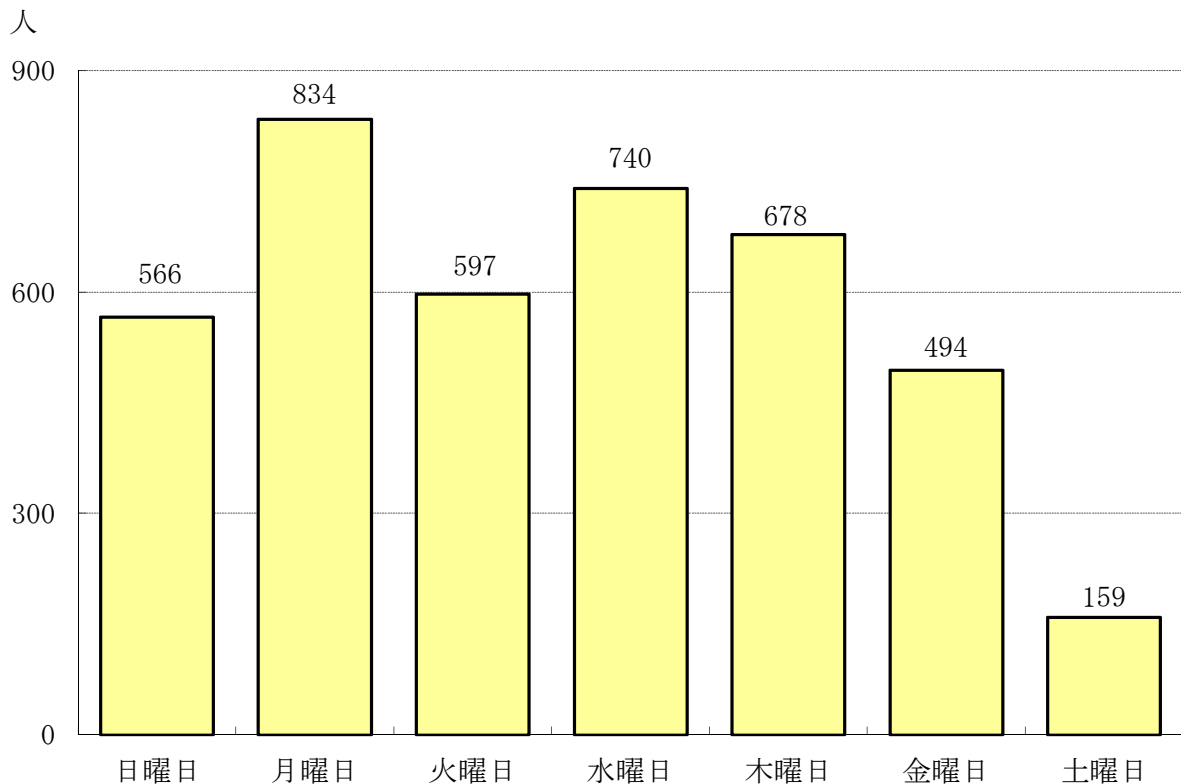
	当 広 域 管 内	宮 城 県 内	宮 城 県 外	合 計
4 月	249			249
5 月	318		91	409
6 月	411	4		415
7 月	552	30		582
8 月	266		50	316
9 月	176			176
10 月	247		57	304
11 月	240	118	24	382
12 月	204	23		227
1 月	179			179
2 月	384			384
3 月	445			445
合 計	3,671	175	222	4,068
28年度計	4,394	75	218	4,687
前年度比較	△ 723	100	4	△ 619
開館以来累計	163,582	10,869	15,559	190,010



月 別 ・ 曜 日 別 利 用 状 況

(平成29年度) (単位：人)

	日	月	火	水	木	金	土	合 計
4 月	4	48	20	36	59	82		249
5 月	1	92	183	34	95	4		409
6 月	30	127	28	101	62	63	4	415
7 月	138	189	52	24	10	115	54	582
8 月	27	83	58	26	65	50	7	316
9 月		39	9	72	34	12	10	176
10 月		13	2	157	76	38	18	304
11 月	98	30	77	18	73	78	8	382
12 月		69		73		27	58	227
1 月	25	18	86	50				179
2 月	43	99	59	74	109			384
3 月	200	27	23	75	95	25		445
合 計	566	834	597	740	678	494	159	4,068
28年度計	574	990	669	662	932	731	129	4,687
前年度比較	△ 8	△ 156	△ 72	78	△ 254	△ 237	30	△ 619
開館以来累計	25,261	19,080	30,717	33,483	35,242	33,763	12,464	190,010



利 用 者 別 状 況

(平成29年度)

団 体 名 等	団 体 数	人 数
幼 年 消 防 ク ラ ブ	2	69
少 年 消 防 ク ラ ブ	4	102
婦 人 防 火 ク ラ ブ	4	92
危険物安全協会・防火管理者協会	9	199
消 防 団	17	778
行 政 機 関	72	1,517
各 種 団 体 等	10	113
救 急 救 命 指 導 講 習	28	475
上 記 以 外 (見 学 ・ 体 験 等)	—	723
合 計	146	4,068

主 な 備 蓄 品

(平成30年3月31日現在)

品 名	数 量	備 考
毛 布	280枚	
布 団	25組	
ポ リ 容 器	100組	
非 常 食	3,462食	乾パン (512) , アルファ米 (1,450) , ビスケット (1,500)
飲 料 水	720本	500ml
応 急 処 置 セ ッ ト	6セット	
担 架	7台	
防 災 ト イ レ	1基	
既設トイレ用簡易トイレ	1000回分	
シ ー ト	45枚	大 (10m×10m) 15, 中30
タ オ ル	200枚	
軍 手	6ダース	
メ ガ ホ ン	5個	サイレン付き
防 災 リ ヤ カ ー	4台	ワンタッチ(2), 折りたたみ(1) 救護車担架付(1)
ア ル ミ カ ー ト	2台	折りたたみ式
災 害 ツ ー ル	1式	

※備蓄品については、年次計画により購入。

気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部

〒988-0104

宮城県気仙沼市赤岩五駄鱈43番地2

TEL 0226-22-6688

FAX 0226-22-0119

メール soumu@km-fire.jp